

同
時
開
催

第50回 近畿医学検査学会

第53回 日本臨床検査医学会近畿支部総会

第30回 日本衛生検査所協会近畿支部学術研究発表会

チーム医療実践セミナー(NST、ICT、糖尿病療養指導)

POCセミナー「POCのトラブル対応術」

まほろばにて温故知新
明日につながる臨床検査



会期

2010年
12月11日(土)・12日(日)

会場

奈良県文化会館
(奈良市登大路町)

- 主催: 近畿医学検査学会
日本臨床検査医学会近畿支部
日本衛生検査所協会近畿支部

- 担当: (社)奈良県臨床衛生検査技師会
学会長: 山本 慶和

天理よろづ相談所病院
総会長: 松尾 収二

(社)日本衛生検査所協会近畿支部
学術委員長: 佐守 友博



学会HP

<http://naraamt.or.jp/50kinki/>

第50回近畿医学検査学会記念式典

日時：12月11日(土) 17:30～18:30

会場：奈良ホテル 金剛の間

第49回近畿医学検査学会会長賞
および学術奨励賞の表彰式を行います。

第50回近畿医学検査学会記念祝賀会 3団体合同懇親会

日時：12月11日(土) 18:30～20:00

会場：奈良ホテル 大和の間・若草の間

参加費：3,000円

祝賀会・
3団体合同懇親会は
オープン参加です!!

※学会会場より送迎バスが出ます。

平城遷都
1300年祭

2010年開催



公式マスコットキャラクター

せんとくん

©Heijo-kyo 1300th Anniv.

INDEX

会場交通案内	4
学会運営について	5
会場配置図	8
学会日程表	10
会場別タイムスケジュールと座長一覧	14
第 50 回近畿医学検査学会記念公開講演	18
教育講演	19
シンポジウム	
S-1：救急医療におけるこれからの臨床検査技師の役割	21
S-2：人材育成 The 3rd ～めざせ！ Creative Technologist ～	22
S-3：検査室内の情報をフル活用！～尿路感染症を斬る！～	23
S-4：電子カルテの功罪 ～見えるようになった情報と、見えなくなった情報～	24
S-5：膠原病の検査・診断・治療 ～関節リウマチを中心に～ (3団体合同企画)	25
S-6：あなたの施設の血液培養(血培)は、本当に大丈夫ですか!?	26
S-7：TTP 患者を救うには	27
S-8：ベセスダシステム	28
パネルディスカッション・ワークショップ	
PD-1：データ標準化、共有化の完成を目指して (近畿医学検査学会、 日本衛生検査所協会近畿支部学術研究発表会合同企画)	29
PD-2：皆で取り組む臨床検査技師教育「魂と技術の伝承」 (3団体合同企画)	30
WS：検査部が見つけた病気(3団体合同企画)	31

教育セミナー

E-1：血液検査情報の活かし方とピットホール	32
E-2：技師に必要な統計学を身につける ～統計の基礎を具体的事例で勉強しよう～	33
E-3：ここだけは押さえておこう！ ビギナーのための尿沈渣検査	33
E-4：グラム染色の重要性とその意義 ～臨床医が求める塗抹検査のあり方～	34
E-5：ABO および Rh 血液型抗原の特徴および変異型	34
E-6：急な胸痛と臨床検査 ～疾患・症状から迫る～	35
E-7：ステップアップ超音波検査 ～下部消化管領域を中心に～	35
E-8：これからはじめる下肢静脈超音波検査	36
E-9：術中モニターの検査体制確立について	36

一般演題・企業プレゼンテーション

近畿医学検査学会・日本臨床検査医学会近畿支部総会	37
日本衛生検査所協会近畿支部学術研究発表会	51

セミナー

ランチョンセミナー	53
チーム医療実践セミナー	55
POC セミナー	58

企業展示一覧	59
--------	----

会場案内

会場：奈良県文化会館

〒630-8213 奈良県奈良市登大路町6-2

TEL：0742-23-8921

奈良県婦人会館

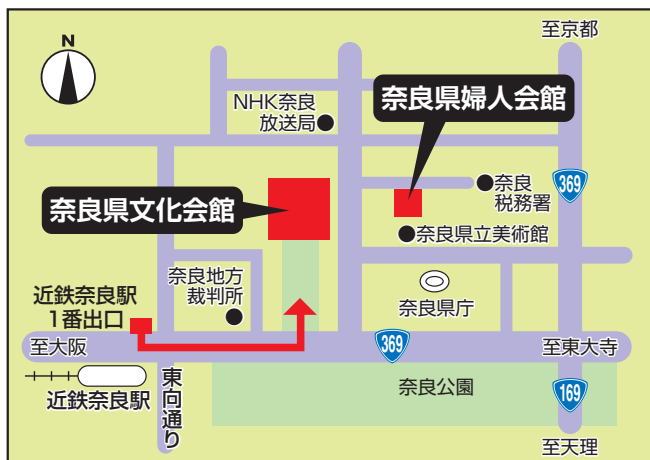
〒630-8213 奈良県奈良市登大路町10-1

TEL：0742-22-4510

交通案内

電車：近鉄「奈良駅」1番出口より 徒歩5分

バス：JR「奈良駅」より「県庁前」下車 徒歩2分



☆駐車場は用意しておりません。公共の交通機関を御利用ください!!

学会運営について

1. 参加される方へ

【参加受付日時と場所】

12月11日(土) 9:00～16:00 奈良文化会館1階 国際ホールロビー

12月12日(日) 9:00～15:00 奈良文化会館1階 国際ホールロビー

- ・受付窓口は、第50回近畿医学検査学会、第53回日本臨床検査医学会近畿支部総会、第30回日本衛生検査所協会近畿支部学術研究発表会、賛助会員および非会員・学生に分かれています。

【学会参加費】

- 会員および非会員とも5,000円です。
- 参加費納入後、名札(参加証)・名札ケース・抄録集をお受け取りください。
- 名札に施設名、氏名をご記入のうえ名札ケースに入れ、会期中は必ず着用表示してください。
- 日本臨床衛生検査技師会および日本臨床検査医学会会員の方は、会員証にて参加受付を行いますので、必ず会員証をご持参ください。

☆学 生

- 参加費は無料です。学生証の提示をお願いします。
- 受付後、名札ケース・ポケット版プログラム集をお受け取りください。
- 学生証を名札ケースに入れ、会期中は必ず着用表示してください。
- 学会参加費は無料ですが、抄録集は別途1,000円が必要です。

☆チーム医療実践セミナーおよびPOCセミナー

- 学会参加が必須となります。学会参加費とは別に、テキスト代として別途1,000円が必要です。
- 事前申し込み制です。(2010年11月26日まで、ただし定員になり次第締め切り)
学会ホームページ(<http://naraamt.or.jp/50kinki/>)より申し込みます。
- NST 40名、ICT 50名、糖尿病療養指導 70名、POC セミナー 60名になり次第締め切りとさせていただきます。当日、余裕があれば参加可能です。

【抄録集】

抄録集の購入を希望される方には、一部1,000円にて販売いたします。

2. 演者の方へ

発表時間	一般演題	発表6分、討論3分
	企業プレゼンテーション	発表12分、討論6分
	シンポジウム等	司会が指示

○発表日時および会場は、11月にホームページ上および配付される「ポケット判プログラム集(本誌)」に記載しておりますので、ご参照ください。

○発表形式は、PC プロジェクターによる口演となります。

○学会会場では PowerPoint2007 がインストールされた Windows PC を使用します。動画ありの場合は、ご自身のパソコン持ち込みとなります (Mac 可)。

○発表スライドは事前受付とさせていただきます。12月6日(必着)までに電子メールまたは CD で受け付けます。

・データの送付先

電子メールの場合 : kinkidata@naraamt.or.jp

郵送 (CD) の場合 : 〒632-8552 天理市三島町 200

天理よろづ相談所 医学研究所 第1研究室 大林 準までご送付願います。

到着・確認いたしましたら、連絡させていただきますので、CD による郵送の場合も、連絡先メールアドレスをご記載下さい。

○発表用データの作成の注意事項

- ・発表データのファイル名は【演題番号】、【氏名】としてください。
- ・学会場で使用するアプリケーションは Windows 版 PowerPoint2007 です。
- ・作成した PC 以外でも動作確認してください。
- ・ウイルスに感染していないことを確認してください。
- ・フォントは Windows に標準搭載されているフォントを使用してください。
- ・データの総量は 10MB 以内でお願いします。
- ・全ての発表で音声は使用できません。
- ・送付いただいたデータの学会当日変更には、原則として対応できません。
- ・バックアップデータを必ずご持参ください。

○演題 PC 受付 : 発表の1時間前までにデータの確認を済ませてください。
(発表時間が 10:00 までのかたは、9:00 ~ 9:15 までに確認を済ませてください)

○注意事項

- ・演者は発表 10 分前には次演者席へ着席してください。
- ・前演者の質疑終了次第、登壇して下さい。
- ・演壇にモニターとレーザーポインターを用意します。
- ・ご自身でキーボード、マウスの操作をお願いします。
- ・演題の発表時間を厳守し、円滑な運営にご協力をお願いします。

3. 座長・司会者の方へ

座長、司会者は、担当演題開始 40 分前までに会場前の座長受付を済ませて下さい。

前座長の登壇と同時に次座長席または司会者席に着席してください。

4. 質疑応答について

質疑応答は座長・司会者の了解を得て、所属・氏名を明らかにしてから質問してください。

5. ランチョンセミナーについて

当日 9 時より文化会館 2F 情報コーナーにて整理券を配布します。

6. 連絡及び注意事項

- ・会場内での呼び出しには対応いたしません。
- ・会場内は全館禁煙です。
- ・クロークは奈良文化会館 1 階展示室 B に設けています。

7. 表彰関連

第 49 回近畿医学検査学会 会長賞

「特殊染色と免疫染色の重染色の病理診断への応用」

柳田 絵美衣（神戸大学医学部附属病院 病理部）

第 49 回近畿医学検査学会 学術奨励賞

「CLSI 準拠変法ホッジテストを用いた

Klebsiella pneumoniae の Ampc 産生株に関する検出能の解析」

藤原 恵夢（ファルコバイオシステムズ総合研究所）

「採血後に疼痛・しびれを訴えた患者の神経生理学的検討」

鈴木 加奈子（京都大学医学部附属病院 検査部）

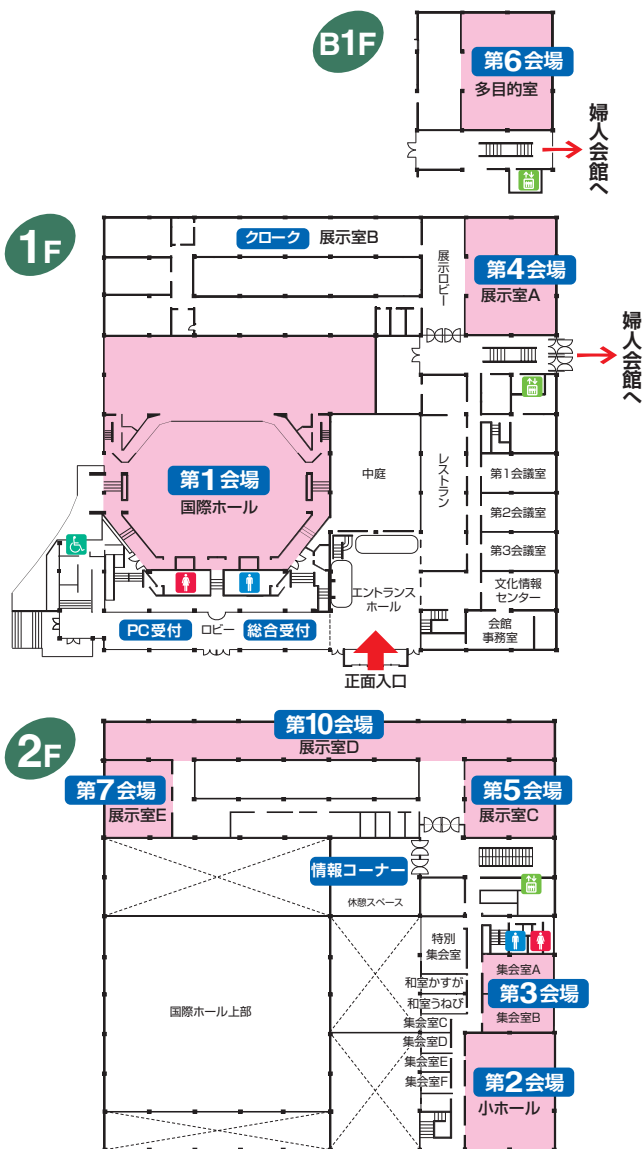
8. 学会事務局

社団法人 奈良県臨床衛生検査技師会

E-mail：50th-kinki@naraamt.or.jp

学会 HP：http://naraamt.or.jp/50kinki/

奈良県文化会館



奈良県婦人会館



[1日目] 12月11日 土

奈良県文化会館

	第1会場 1F 国際ホール	第2会場 2F 小ホール	第3会場 2F 集会室A・B	第4会場 1F 展示室A	第5会場 2F 展示室C
9:00	9:00～ 受付開始				
10:00	9:30～11:40 一般演題 1～12 企業プレゼン 1 免疫血清	9:30～11:30 一般演題 13～25 生 理	9:30～11:40 一般演題 26～37 企業プレゼン 2 病 理	9:30～11:40 一般演題 38～49 企業プレゼン 3 血 液	9:30～11:40 一般演題 50～63 微生物
11:00					
12:00		12:00～13:00 ランチョン セミナー 1 (アボット)	12:00～13:00 ランチョン セミナー2 (日本光電)	12:00～13:00 ランチョン セミナー 3 (ベックマン)	12:00～13:00 ランチョン セミナー 4 (セキスイ)
13:00	13:10～14:10 50回記念 講演				
14:00					
15:00	14:30～16:40 ワークショップ 3団体合同企画 検査部が見つけた病気	14:20～16:30 シンポジウム1 救急医療に おけるこれ からの臨床 検査技師の 役割	14:20～16:30 シンポジウム2 人材育成 The 3rd ～めざせ！ Creative Technologist～	14:20～16:30 一般演題 64～77 血 液	14:20～16:30 一般演題 78～91 生 理
16:00					
17:00					

奈良県文化会館

第6会場 BF1 多目的室	第7会場 2F 展示室E	第10会場 2F 展示室D
9:30～11:40 日衛協 セッション 169～181	9:30～12:30 POC セミナー	9:30 ↓ 17:30 企業展示・書籍販売・ドリンクコーナー・休憩所
12:00～13:00 ランチョン セミナー 5 (シーメンス)		
14:20～16:30 パネルディス カッション 1 日衛協・技師会 合同企画 データ標準化、 共有化の完成 を目指して	14:20～17:20 チーム医療 セミナー (DM)	

奈良県婦人会館

第8会場 3F 大ホール	第9会場 1F 中研修室	
9:30～11:40 教育 セミナー 1 E-1: 血液像 E-2: 統 計	9:30～12:30 チーム医療 セミナー (NST)	9:00 10:00 11:00 12:00 13:00 14:00 15:00 16:00 17:00
12:00～13:00 ランチョン セミナー 6 (シスメックス)		
14:20～16:30 教育 セミナー 2 E-3: 尿沈渣 E-4: グラム染色	14:20～17:20 チーム医療 セミナー (ICT)	

[2日目] 12月12日 日

奈良県文化会館

	第1会場 1F 国際ホール	第2会場 2F 小ホール	第3会場 2F 集会室A・B	第4会場 1F 展示室A
9:00	9:00～ 受付開始			
10:00	9:20～11:30 シンポジウム 3 検査室内の情報フル活用！ 一尿路感染症を斬る！	9:20～11:30 パネルディスカッション 2 3団体合同企画 皆で取り組む臨床検査技師教育「魂と技術の伝承」	9:20～11:30 シンポジウム 4 電子カルテの功罪	9:20～11:30 一般演題 92～103 企業プレゼン 4 臨床化学
11:00				
12:00		11:50～12:50 ランチョンセミナー 7 (シスメックス)	11:50～12:50 ランチョンセミナー 8 (和 光)	11:50～12:50 ランチョンセミナー 9 (ロシュ)
13:00	13:00～14:00 教育講演			
14:00				
15:00	14:10～16:20 シンポジウム 5 3団体合同企画 膠原病の検査・診断・治療	14:10～16:20 シンポジウム 6 あなたの施設の血液培養(血培)は、本当に大丈夫ですか!?	14:10～16:20 シンポジウム 7 TTP患者を救うには	14:10～16:20 シンポジウム 8 ベセスダシステム
16:00				
17:00				

奈良県文化会館

奈良県婦人会館

第5会場 2F 展示室C	第6会場 BF1 多目的室	第7会場 2F 展示室E	第10会場 2F 展示室D	第8会場 3F 大ホール	
9:20~11:20 一般演題 104~114 企業プレゼン 5 微生物・輸血	9:20~10:23 日衛協セッション 182~188 10:23~11:30 一般演題 115~119 企業プレゼン 6 免 疫	9:20~11:20 一般演題 120~132 細胞・血液・ 管理運営	9:30 ~ 16:30 企業展示・書籍販売・ドリンクコーナー・休憩所	9:20~11:30 教育セミナー3 E-5: 輸血検査 E-6: 急な胸痛	9:00 10:00 11:00
11:50~12:50 ランチョン セミナー 10 (富士テレビ)	11:50~12:50 ランチョン セミナー 11 (栄研化学)			11:50~12:50 ランチョン セミナー12 (G E)	12:00
					13:00
14:10~16:10 一般演題 133~141 企業プレゼン 7・8 チーム医療	14:10~16:40 一般演題 142~153 企業プレゼン 9・10 一般・ 臨床化学	14:10~16:25 一般演題 154~168 遺伝子・生理		14:10~16:30 教育セミナー4 E-7: 腹部超音波 E-8: 血管超音波 E-9: 術中モニター	14:00 15:00 16:00
					17:00

会場別タイムスケジュールと座長一覧

第1会場（文化会館 1F 国際ホール）

月日	時間	区分・演題名	座長・司会者・企業（所属）
1 日目	9:30～ 10:15	O-1～O-5 免疫血清	桒田 緑（関西医科大学） 繁 正志（大阪医科大学附属病院）
	10:15～ 11:00	O-6～O-10 免疫血清	上田 一仁（大阪医科大学附属病院） 狩野 春艶（兵庫医科大学病院）
	11:00～ 11:36	O-11～O-12 免疫血清 KP-1 企業プレゼン 東洋紡績株式会社	林 伸英（神戸大学医学部附属病院） 松川 裕一（社会保険滋賀病院）
	13:10～ 14:10	50回近畿医学検査学会記念講演 「土と役者と考古学」～纏向遺跡と歴史ロマン～	山本 慶和（天理よろづ相談所病院）
	14:30～ 16:40	WS-1 ワークショップ 検査部が見つけた病気（3団体合同企画）	岡本 康幸（奈良県立医科大学） 小宮山 豊（関西医科大学）
2 日目	9:20～ 11:30	S-3 シンポジウム 検査室内の情報をフル活用！ ～ 尿路感染症を斬る！～	藤田 直久（京都府立大学附属病院） 中村 彰宏（天理よろづ相談所病院）
	13:00～ 14:00	教育講演 「インフルエンザの最新科学」	佐守 友博（日本医学臨床検査研究所）
	14:10～ 16:20	S-5 シンポジウム 膠原病の検査・診断・治療（3団体合同企画）	小柴 賢洋（兵庫医科大学） 久保 光史（済生会和歌山病院）

第2会場（文化会館 2F 小ホール）

月日	時間	区分・演題名	座長・司会者・企業（所属）
1 日目	9:30～ 10:06	O-13～O-16 生理	森嶋 良一（奈良医大附属病院） 福岡 恵子（神戸大学医学部附属病院）
	10:06～ 11:27	O-17～O-25 生理	小林 昌弘（天理よろづ相談所病院） 高谷 恒範（奈良医大附属病院）
	12:00～ 13:00	L-1 ランチョンセミナー ARCHITECT ProGRP 検査の特長と 導入の意義	アボットジャパン株式会社
	14:20～ 16:30	S-1 シンポジウム 救急医療におけるこれからの 臨床検査技師の役割	福塚 勝弘（勸天理よろづ相談所医学研究所） 鮎川 宏之（医仁会武田総合病院）
2 日目	9:20～ 11:30	PD-2 パネルディスカッション 皆で取り組む臨床検査技師教育 「魂と技術の伝承」（3団体合同企画）	松尾 収二（天理よろづ相談所病院） 今田 周二（医仁会平井病院）
	11:50～ 12:50	L-7 ランチョンセミナー 血小板減少症の診断と治療ー最近の話題ー	シスメックス株式会社
	14:10～ 16:20	S-6 シンポジウム あなたの施設の血液培養は、 本当に大丈夫ですか!?	小泉 章（奈良医大附属病院） 笠原 敬（奈良医大附属病院）

第3会場 (文化会館 2F 集会室 A・B)

月日	時間	区分・演題名	座長・司会者・企業(所属)
1 日	9:30～ 10:42	O-26～O-31 病理 KP-2 企業プレゼン シスメックス株式会社	太田 善夫(近畿大学医学部奈良病院) 水口 洋一(日本生命済生会附属日生病院)
	10:42～ 11:36	O-32～O-37 病理	丸山 博司(星ヶ丘厚生年金病院) 江口 光徳(宇治徳洲会病院)
	12:00～ 13:00	L-2 ランチョンセミナー ECI 脳波測定セミナー	日本光電関西株式会社
	14:20～ 16:30	S-2 シンポジウム 人材育成 The 3rd ～めざせ！ Creative Technologist～	高部 弘司(近畿大学医学部奈良病院) 山内 一浩(市立豊中病院)
2 日	9:20～ 11:30	S-4 シンポジウム 電子カルテの功罪	岡山 幸成(天理よろづ相談所病院) 北川 勇一(近江八幡市立医療センター)
	11:50～ 12:50	L-8 ランチョンセミナー 疾患別臨床検査の見方・考え方	和光純薬工業株式会社
	14:10～ 16:20	S-7 シンポジウム TTP 患者を救うには	田邊 正喜(彦根市立病院) 下村 大樹(天理よろづ相談所病院)

第4会場 (文化会館 1F 展示室 A)

月日	時間	区分・演題名	座長・司会者・企業(所属)
1 日	9:30～ 10:33	O-38～O-42 血液 KP-3 企業プレゼン シスメックス株式会社	小宮山 豊(関西医科大学) 碁盤 法子(京都医療センター)
	10:33～ 11:36	O-43～O-49 血液	稲葉 亨(京都府立医科大学) 中村 恒仁(済生会中津病院)
	12:00～ 13:00	L-3 ランチョンセミナー 共有基準範囲設定国際プロジェクトからの知見	ベックマンコールター株式会社
	14:20～ 15:23	O-64～70 血液	河野 誠司(神戸大学) 西村 精児(近江八幡市立総合医療センター)
	15:23～ 16:26	O-71～O-77 血液	田窪 孝行(大阪医科大学) 三村 喜彦(兵庫県立西宮病院)
2 日	9:20～ 10:05	O-92～O-96 臨床化学	奥井 幸三(公立甲賀病院) 小笠原 志郎(公立那賀病院)
	10:05～ 10:41	O-97～O-98 臨床化学 KP-4 企業プレゼン 日本電子株式会社	南部 昭(京都府立医科大学) 草尾 恵(奈良県立三室病院)
	10:41～ 11:26	O-99～O-103 臨床化学	岡本 康幸(奈良県立医科大学) 米田 孝司(オリエンタル酵母工業)
	11:50～ 12:50	L-9 ランチョンセミナー ウイルス肝炎検査と治療の最前線	ロシュダイアグノスティックス株式会社
	14:10～ 16:20	S-8 シンポジウム ベセスダシステム	中屋 佳子(福井総合病院) 鍵弥 朋子(和歌山市医師会成人病センター)

第5会場 (文化会館 2F 展示室 C)

月日	時間	区分・演題名	座長・司会者・企業(所属)
1日目	9:30～10:33	O-50～O-56 微生物	山住 俊晃(育和会記念病院) 坪井 房幸(市立長浜病院)
	10:33～11:36	O-57～O-63 微生物	一山 智(京都大学医学部) 伏脇 猛司(結核予防会大阪府支部大阪病院)
	12:00～13:00	L-4 ランチョンセミナー LDL 測定法の問題点について	積水メディカル株式会社
	14:20～15:14	O-78～O-83 生理	岩谷 良則(大阪大学) 三木 俊(八尾市立病院)
	15:14～15:50	O-84～O-87 生理	高橋 伯夫(関西医科大学) 塚田 孝法(公立丹南病院)
	15:50～16:26	O-88～O-91 生理	藤本 眞一(奈良医大教育開発センター) 安保 浩二(大阪市立大学附属病院)
2日目	9:20～10:32	O-104～O-109 微生物 KP-5 企業プレゼン 和光純薬株式会社	川端 直樹(市立敦賀病院) 小森 敏明(京都府立医科大学病院)
	10:32～11:17	O-110～114 輸血	宮野 章(大阪府立母子保健総合医療センター) 藤田 往子(近畿大学医学部附属病院)
	11:50～12:50	L-10 ランチョンセミナー 肥満と炎症	富士レビオ株式会社
	14:10～15:04	O-133～O-136 チーム医療 KP-7 企業プレゼン 株式会社 堀場製作所	福田 篤久(大阪府立泉州救命救急センター) 長谷川 章(高の原中央病院)
	15:04～16:07	KP-8 企業プレゼン 扶桑薬品工業株式会社 O-137～O-141 チーム医療	尾鼻 康朗(近畿大学医学部奈良病院) 小宮山 恭弘(大阪鉄道病院)

第6会場 (文化会館 BF1 多目的室)

月日	時間	区分・演題名	座長・司会者・企業(所属)
1日目	9:30～9:39	日本衛生検査所協会近畿支部学術委員長あいさつ	佐守 友博(日本医学臨床検査研究所)
	9:39～10:33	O-169～O-174 日衛協セッション	下出 正幸(日本医学臨床検査研究所) 竹内 秀史(日本医学)
	10:33～11:36	O-175～O-181 日衛協セッション	山本 幸司(近畿予防医学研究所) 岡本 豊(阪大微生物病研究会)
	12:00～13:00	L-5 ランチョンセミナー ヘモグロビン A1c の国際標準化の動向	シーメンスヘルスケア・ ダイアグノスティクス株式会社
	14:20～16:30	PD-1 パネルディスカッション データ標準化、共有化の完成を目指して (日衛協・技師会合同企画)	猪田 猛久(天理よろづ相談所病院) 元中 秀行(草津総合病院)
	9:20～10:05	O-182～O-186 日衛協セッション	今村 茂男(いかがく) 鳩宿 敏彦(ファルコバイオシステムズ)
2日目	10:05～10:23	O-187～O-188 日衛協セッション	武居 弘哲(エスアールエル) 今村 茂男(いかがく)
	10:23～11:26	O-115～O-119 免疫血清 KP-6 企業プレゼン 協和メデックス株式会社	日高 洋(大阪大学) 三崎 隆一(大津赤十字病院)
	11:50～12:50	L-11 ランチョンセミナー 呼吸器感染症の新しい遺伝子検査法	栄研化学株式会社
	14:10～14:46	O-142～O-145 一般	山西 八郎(大阪大学医学部附属病院) 高田 穂波(奈良県立医科大学附属病院)
	14:46～15:22	O-146～O-147 一般 KP-9 企業プレゼン 栄研化学株式会社	田原 昇(大手前病院) 佐伯 仁志(NHO 京都医療センター)
	15:22～15:58	O-148～O-151 臨床化学	三家 登喜夫(和歌山県立医科大学) 芝原 裕和(関西労災病院)
	15:58～16:34	O-152～O-153 臨床化学 KP-10 企業プレゼン ニッターボーメディカル株式会社	池本 正生(京都大学) 坂東 雅彦(大阪中央病院)

第7会場 (文化会館 F2 展示室 E)

月日	時間	区分・演題名	座長・司会者・企業(所属)
1 日 目	9:30～ 12:30	POC セミナー POC のトラブル対応	
	14:20～ 17:20	チーム医療セミナー(DM)「あなたの仕事を療養指導に生かしてみませんか？」	
2 日 目	9:20～ 10:05	O-120～O-124 細胞	岡部 英俊(滋賀医科大学病院) 三原 勝利(星ヶ丘厚生年金病院)
	10:05～ 10:41	O-125～O-128 血液	梅木 弥生(奈良県立三室病院) 吉田 正明(社会保険滋賀病院)
	10:41～ 11:17	O-129～O-132 管理運営	朝山 均(日本医学臨床検査研究所) 高田 厚照(関西西大香里病院)
	14:10～ 15:04	O-154～O-159 遺伝子	渡邊 幹夫(大阪大学) 山本 章史(大阪府立成人病センター)
	15:04～ 15:49	O-160～O-164 生理	藤澤 義久(滋賀医科大学) 野口 幸彦(三菱京都病院)
	15:49～ 16:25	O-165～O-168 生理	武内 徹(大阪医科大学) 三宅 崇人(和歌山労災病院)

第8会場 (婦人会館 3F 大ホール)

月日	時間	区分・演題名	座長・司会者・企業(所属)
1 日 目	9:30～ 10:30	E-1 教育セミナー 血液検査情報の活かし方とビットホール	胡内 久美子(県立奈良病院)
	10:40～ 11:40	E-2 教育セミナー 技師に必要な統計学を身につける	河野 久(天理よろづ相談所病院)
	12:00～ 13:00	L-6 ランチョンセミナー 耐性菌感染制御を目指す細菌検査のあり方	シスメックス株式会社
	14:20～ 15:20	E-3 教育セミナー ここだけは押さえておこう！ ビギナーのための尿沈渣検査	宇野 良美(医療法人林病院)
	15:30～ 16:30	E-4 教育セミナー グラム染色の重要性和その意義	佐野 麗子(奈良県立医科大学附属病院)
2 日 目	9:20～ 10:05	E-5 教育セミナー ABO および Rh 血液型抗原の特徴および変異型	小林 洋子(福井大学医学部附属病院)
	10:15～ 11:30	E-6 教育セミナー 急な胸痛と臨床検査	河谷 浩(公立大栗総合病院)
	11:50～ 12:50	L-12 ランチョンセミナー 乳房超音波検査 一画質にまつわるおはなし	GE ヘルスケアジャパン株式会社
	14:10～ 14:45	E-7 教育セミナー ステップアップ超音波検査 ～下部消化管領域を中心に～	木下 博之(社会保険紀南病院)
	14:50～ 15:25	E-8 教育セミナー これからはじめる下肢静脈超音波検査	畑 久勝(済生会滋賀県病院)
	15:30～ 16:30	E-9 教育セミナー 術中モニターの検査体制確立について	高谷 恒範(奈良県立医科大学附属病院)

第9会場 (婦人会館 1F 中研修室)

月日	時間	区分・演題名	座長・司会者・企業(所属)
1 日 目	9:30～ 12:30	チーム医療セミナー(NST)「嚥下機能」～評価から栄養の実践まで～	
	14:20～ 17:20	チーム医療セミナー(ICT)「結核感染対策 あなたの病院は大丈夫？」	

12月11日(土)

13:10～14:10

第1会場

(文化会館 1F 国際ホール)

司会：山本 慶和(天理よろづ相談所病院 臨床病理部)

土と役者と考古学 ～纏向遺跡と歴史ロマン～

荻谷 俊介

(俳優、考古学協会員)

< 講演概要 >

私の役者人生、それは悲惨というより滑稽なものでした。テレビでのデビュー作は「大都会」「西部警察」で、かつて例のない異質の刑事役でした。故石原裕次郎さんとの思い出話は尽きません。また、私が本格的な考古学研究を決意したのは、石原裕次郎邸の新築工事からで、それを境に役者と考古学の二足のワラジを履く日々がはじまったわけです。発掘現場は、土を通して過去と現代が出会う唯一の場所です。土の中に探し当てた過去の人間の息吹は、必ず私達の未来の指針となる筈です。今回は「纏向遺跡」や「邪馬台国」にも触れてみましょう。

12月12日(日)

13:00～14:00

第1会場

(文化会館 1F 国際ホール)

司会：佐守 友博(日本医学臨床検査研究所)

インフルエンザの最新科学

岩田 健太郎

(神戸大学大学院医学研究科 微生物感染症学講座感染治療学分野 教授)

(神戸大学都市安全研究センター医療リスクマネジメント分野 教授)

< 講演概要 >

インフルエンザについて考えてみたいと思います。けれども、みなさん、もう2009年にさんざんインフルエンザととっくみあってきて、これ以上何を考えるのか？という感じではないでしょうか。あるいは、もうこのトピックについては飽きてしまっているかもしれません。この抄録を書いているのは8月の暑い日のことです。インフルエンザという病気をイメージすることすら難しい暑い日です。でも、こういうときこそクールな視線でインフルエンザを一所懸命考えなくてはなりません。僕らがいままで考えたことがないようなやり方で考えなおすよいチャンスです。そういう時間が皆さんと持てれば幸いです。

シンポジウム全体のねらい

本学会ではシンポジウム8題、パネルディスカッション2題を用意し皆様方のお越しをお待ちしております。シンポジウムは部門を渡るコラボレーションを2題、血液・輸血部門での『TTP 患者を救うには』と題し、TTPの発症のメカニズム・診断のための検査そして輸血・治療までを幅広く取り上げます。一般・細菌部門では『検査室内の情報フル活用！～尿路感染症を斬る～』と題して、検査部門が違えば見方も変わる。など検査室間のコラボレーションの有用性を体験してもらいます。

また部門単独も6題、『膠原病の検査・診断・治療 ～関節リウマチを中心に～』、『電子カルテの功罪 ～見えるようになった情報と、見えなくなった情報～』、『救急医療におけるこれからの臨床検査技師の役割』、『ベセスダシステム』、『人材育成 The 3rd ～めざせ！ Creative Technologist ～』、『あなたの施設の血液培養（血培）は本当に大丈夫ですか！？ ～血培、総点検！現状と課題、そして今後～』などホットな話題、これからの課題、そして警告など様々な観点から臨床検査を考えて行こうと考えたシンポジウムの構成となっております。さらに今回、パネルディスカッションは2題、『皆で取り組む臨床検査技師教育』『データ標準化、共有化の完成を目指して』臨床検査技師が抱える課題と、避けて通れない問題をどう克服するかを討論会で方向性が明らかに出来ればと考えています。是非シンポジウム、パネルディスカッションに参加していただき今後の臨床検査に活かせていただければ幸いです。

12月11日(土)

14:20～16:30

第2会場

(文化会館 2F 小ホール)

救急医療におけるこれからの臨床検査技師の役割

司会：福塚 勝弘(勸天理よろづ相談所医学研究所)

鮎川 宏之(医仁会武田総合病院)

S1-1 救急医療におけるアンケート調査

福塚 勝弘(勸天理よろづ相談所医学研究所)

S1-2 検査技師ができる院内外の救命処置

地域の社会復帰率向上に向けて

藪 圭介(国家公務員共済組合連合会 枚方公済病院 臨床検査科)

S1-3 緊急検査における迅速性の追求

～救急医療現場で働く技師の立場から～

竹下 仁(大阪府三島救命救急センター 検査科)

S1-4 ここがポイント緊急時のエコー検査

西岡 正彦(大和高田市立病院)

S1-5 救急医(当直医)が検査技師さんに期待すること

寺沢 秀一(福井大学医学部附属病院 副病院長)

< ねらい >

救急医療におけるこれからの臨床検査技師の役割と題して、救急医療に携わっておられる医師、臨床検査技師の方々にそれぞれの現状について話していただき、その中から臨床検査の枠を超えて、救急医療現場におけるこれからの臨床検査技師の役割について考える。また、アンケート調査による現状報告も行う

12月11日(土)

14:20～16:30

第3会場

(文化会館 2F 集会室 A・B)

人材育成 The 3rd ～めざせ！ Creative Technologist ～

司会：高部 弘司（近畿大学医学部奈良病院 臨床検査部）
山内 一浩（市立豊中病院 臨床検査部）

- S2-1 既卒技師を対象とした細胞検査士育成カリキュラム
神崎 由佳（社団法人京都保健会 京都民医連中央病院 病理技術課）
- S2-2 微生物検査における人材育成
木下 承皓（神戸大学医学部附属病院 検査部）
- S2-3 めざせ！ Creative Technologist 生理機能検査部門
竹中 正人（社会保険紀南病院 中央臨床検査部）
- S2-4 人材マネジメント ～管理職に求めるもの～
山名 琢薫（社会医療法人景岳会南大阪病院 法人本部）

< ねらい >

第48回（兵庫）、第49回（京都）と過去2回にわたり、人材育成をテーマにシンポジウムを開催してまいりましたが、今回第50回奈良学会でシリーズの締めくくりを迎えます。そこで、これまでの議論を基に、実際の検査現場において、どのような人材育成がなされているのかを、専門分野ごとに紹介していただき、現在、抱えておられる将来に向けた課題を浮き彫りにし、共有できる解決策を見出せればと考えています。第50回奈良学会のテーマは「まほろばにて温故知新」明日につなげる臨床検査です。これまでの各分野における臨床検査技師育成の歩みを振り返り、未来に向けた創造性豊かな検査技師をいかに輩出できるか、新しいスピリットで議論を交わしたいと思っています。古い殻を打ち破り、新たな道筋を見つけましょう。

12月12日(日)

9:20～11:30

第1会場

(文化会館 1F 国際ホール)

検査室内の情報をフル活用！～尿路感染を斬る～

司会：藤田 直久(京都府立大学附属病院 臨床検査部)

中村 彰宏(天理よろづ相談所病院 臨床病理部)

S3-1 臨床医はこう診る！尿路感染症

石戸谷 哲(滋賀県立成人病センター 泌尿器科)

S3-2 尿路感染症診断へのファースト・ステップ！

一般検査で尿路感染症を憶測することは可能か？

堀田 真希(国立大学法人大阪大学医学部附属病院 臨床検査部)

S3-3 尿路感染の細菌検査はここが大事

一般検査と細菌検査の融合は図れるか？

山本 剛(西神戸医療センター)

S3-4 尿路感染症の原因を追及！

綿貫 裕(姫路赤十字病院)

< ねらい >

我々、臨床検査技師もチーム医療への参画に躍起になってきたが、検査室内ではどうだろうか？自身の担当検査領域のみを見ているのでは、病態が見えてこない。検査部門が違えば見方も変わる。今一度、検査室内での情報共有を心掛けることで、それぞれの専門性を活かした、より質の高い臨床検査結果を医師に提供できると考える。今回は、重篤な敗血症を起こしうる原因の一つであり、早期発見および適切な治療が求められる尿路感染症を一例に取り上げる。

多方向の検査分野から尿路感染症の検査の実態また臨床現場の実態等を明らかにしつつ、検査室間のコラボレーションの有用性について討論したい。

12月12日(日)

9:20～11:30

第3会場

(文化会館 2F 集会室 A・B)

電子カルテの功罪

～見えるようになった情報と、見えなくなった情報～

司会：岡山 幸成(天理よろづ相談所病院)

北川 勇一(近江八幡市立医療センター)

S4-1 医師から見た電子カルテの運用

土井 哲也(医療法人医仁会武田総合病院)

S4-2 検体検査から見た電子カルテの活用

湊 健(日本赤十字社 和歌山医療センター)

S4-3 病理検査から見た電子カルテ

駒井 隆夫(兵庫県立西宮病院 検査・放射線部)

S4-4 生理検査から見た電子カルテの活用

紙を減らして、手間を増やさず

六尾 哲(市立岸和田市民病院 医療技術局中央検査部)

S4-5 最新・将来の電子カルテについて

～電子カルテからヒューマンセントリックな ICT 社会へ～

岩原 宏直(富士通株式会社)

< ねらい >

電子カルテや病院間のネットワークの構築、検査の標準化がなされれば、どこからでも患者情報を共有できるメリットがあるにもかかわらず、普及率は低い。そこで、現在電子カルテ運用されている施設の方にメリット、デメリットおよびその対策などを紹介していただき、今後導入を計画されている方々に参考になるような議論を展開する。

12月12日(日)

14:10～16:20

第1会場

(文化会館 1F 国際ホール)

膠原病の検査・診断・治療 ～関節リウマチを中心に～ (3団体合同企画)

司会：小柴 賢洋(兵庫医科大学 臨床検査医学)
久保 光史(済生会和歌山病院 臨床検査科)

- S5-1 関節リウマチの診断・治療の変遷
小柴 賢洋(兵庫医科大学 臨床検査医学)
- S5-2 関節リウマチ検査の臨床的意義とピットフォール
～MMP-3、抗CCP抗体を中心に～
林 伸英(神戸大学医学部附属病院 検査部)
- S5-3 リウマチ治療におけるオカルトHBV感染のリスクに
“免疫抑制・化学療法により発症するB型肝炎対策ガイドライン”
飯沼 一茂(アボットジャパン株式会社、学術情報部 顧問)
- S5-4 RF、抗核抗体の標準化について ～新しい標準化法の提案～
熊谷 俊一(神鋼病院 膠原病リウマチセンター)

< ねらい >

今回のシンポジウムは3団体合同のシンポジウムということで、膠原病、その中でも関節リウマチを中心に、検査・診断・治療をテーマに取り上げる。臨床医、検査技師、検査センターそれぞれの立場から最先端の検査、治療、そして問題点等について討議する。患者QOLの向上につながる検査、診断、治療を知り、日常の検査に活かしたい。

12月12日(日)

14:10～16:20

第2会場

(文化会館 2F 小ホール)

あなたの施設の血液培養(血培)は、 本当に大丈夫ですか!?

司会：小泉 章(奈良医大附属病院 中央臨床検査部)

笠原 敬(奈良医大附属病院 感染症センター)

- S6-1 血液培養の現状と課題**
近畿地区で行ったアンケート結果より
中尾 光孝(国保日高総合病院)
- S6-2 血液培養の重要性(医師の立場より)**
感染制御部による全病院的介入の効果からみた血液培養のインパクト
高倉 俊二(京都大学医学研究科臨床病態検査学)
- S6-3 血液培養検査法の実際 求められる感度と特異度**
茂籠 邦彦(滋賀医科大学医学部附属病院)
- S6-4 血液培養陽性時のエビデンスに基づいた情報収集と
情報提供のあり方**
中村 竜也(関西医科大学附属枚方病院 臨床検査部・感染症管理部)

< ねらい >

敗血症は、患者の予後に多大な影響を及ぼす重症感染症である。近年、高齢化社会や医療の進歩に伴い易感染宿主が増加したことにより敗血症が非常に増加している。血液培養の検査法については、用手法が主流であった時代から、検査精度の向上と利便性が追求され自動化が進化した結果、多くの検査室で自動機器が導入されてきている。また、微生物検査室の無い病院においては、外部委託による検査が主流となっているが自施設で実施している施設も散見される。敗血症は、早期に診断し適正な治療を行う事が患者の予後に直結する為、病院や検査室の規模に関わらず原因菌に関する迅速な情報発信が検査室に求めてられており、例えば外部委託であっても同様である。今回のシンポジウムでは、血液培養の重要性について再考するとともに、血液培養法の基礎や他の臨床検査データの活用法にも着目する。また、微生物検査室の無い病院を含め幅広くアンケートを行い、病院内における検査体制および臨床医と技師との連携など、血液培養を取り巻く現状と課題について、ひいては血液培養と微生物検査室または病院検査室の今後について考えたい。

12月12日(日)

14:10～16:20

第3会場

(文化会館 2F 集会室 A・B)

TTP 患者を救うには

司会：田邊 正喜(彦根市立病院)

下村 大樹(天理よろづ相談所病院)

S7-1 TTP の診断と治療 ADAMTS13 検査の意義

松本 雅則(奈良県立医科大学 輸血部)

S7-2 TTP の形態検査 破碎赤血球の見方・今後の展開

志賀 修一(京都大学医学部附属病院)

S7-3 TTP の凝固検査、生化学検査など

各種検査から読み取れること、医師への報告と情報収集

小宮山 豊(関西医科大学 臨床検査医学講座)

S7-4 ADAMTS13 の測定法 ADAMTS13 測定法とその解釈

加藤 誠司(アルフレッサ ファーマ株式会社)

S7-5 輸血療法における輸血用血液製剤の使用状況と 輸血管理料について

国分寺 晃(兵庫医科大学病院 輸血部)

< ねらい >

血栓性血小板減少性紫斑病(thrombotic thrombocytopenic purpura : TTP)は、血栓性微小血管障害(thrombotic microangiopathy : TMA)の1つである。検査診断学的には破碎赤血球・血小板減少・血栓による臓器機能障害を特徴とする。診断技術の向上により、この疾患概念が変わりつつあり、新たな治療法も行われている。今回のシンポジウムでは、TTP発症のメカニズム・診断のための検査および治療法の理解を深めるとともに、このシンポジウムを通して TTP 患者を救うためのネットワークができ、情報交換が盛んに行われることを期待する。

12月12日(日)

14:10～16:20

第4会場

(文化会館 1F 展示室 A)

ベセスダシステム

司会：中屋 佳子(福井総合病院 検査科)

鍵弥 朋子(和歌山市医師会成人病センター)

S8-1 ベセスダシステムの採用状況について ～アンケートを実施して～

西川 武(奈良県立医科大学付属病院 病院病理部)

S8-2 報告書様式の対応。旧報告書から新報告書になってどこの部分が 変わったのか？

S8-2-1 ベセスダシステム報告様式導入に向けた取り組み

水野 幸恵(福井県立病院 検査室)

S8-2-2 日母分類からベセスダシステムに移行して 子宮頸部細胞診報告様式のどの部分が変わったか

谷田 仁司(近江八幡市立総合医療センター)

S8-2-3 ベセスダシステムについて 当院におけるベセスダシステム 2001に準拠した報告様式の移行について

三村 明弘(大阪労災病院 病理診断科)

S8-2-4 ベセスダシステム 2001 準拠子宮頸部細胞診報告様式 への対応について 登録衛生検査所の立場から

林 久志(株式会社ファルコバイオシステムズ 病理細胞診センター)

S8-3 兵庫県・西播地区で行った腰部頸部領域(ベセスダシステム)における 精度管理 形態学において他人の意見を聞くことは重要ではないか！

川嶋 雅也(㈱兵庫県臨床検査研究所 検査部)

S8-4 話題の子宮頸がん検査 “HPV-DNA 検査”

恩田 亮一(三菱化学メディエンス株式会社 診断検査事業部

営業統括部門 営業企画推進部 営業企画グループ)

S8-5 臨床医の立場からみたベセスダシステムの実際 臨床医・病理医・細胞診専門医の抱えるベセスダシステムの問題点

小笠原 利忠(誠仁会大久保病院 産婦人科・細胞診断部)

< ねらい >

ベセスダシステムの採用状況のアンケート結果、判定基準で問題となっている ASC-US、ASC-H の取扱いや、ベセスダ判定を採用した施設の報告書の様式(旧判定法との併記等の問題点)、HPV 検査とワクチン等の問題点を討議していきたい。検査技師の意見だけでなく、臨床医の意見を交えベセスダシステムの有用な活用法を探りたい。

12月11日(土)

14:20～16:30

第6会場

(文化会館 BF1 多目的室)

データ標準化、共有化の完成を目指して

(近畿医学検査学会、日本衛生検査所協会近畿支部学術研究発表会合同企画)

司会：猪田 猛久(天理よろづ相談所病院 臨床病理部)

元中 秀行(草津総合病院 臨床検査部)

PD1-1 データの標準化と共有化に関するアンケート報告

平井 和美(株式会社 ファルコバイオシステムズ)

PD1-2 サーベイの実施方法について

精度管理調査の方法と管理試料の問題点

芝原 裕和(関西労災病院)

PD1-3 サーベイの実施方法について 回数と期間について

猪田 猛久(天理よろづ相談所病院)

PD1-4 内部精度管理および外部精度管理において目標値の

許容範囲から外れた場合の措置 登録衛生検査所の立場から

藤本 一満(株式会社 ファルコバイオシステムズ)

PD1-5 プール血清を用いた施設間クロスチェック

近畿地区の基幹病院と検査センターのコラボレーション

麻植 芳郎(株式会社 いかがく)

PD1-6 目標値の許容範囲から外れた場合の措置 基幹施設の立場から

中島 康仁(パナソニック健康保険組合 松下記念病院 中央臨床検査部)

< ねらい >

“データの標準化と共有化を完成させる”を目的に、日衛協と技師会の合同でパネルディスカッションを行う。日臨技の標準化3ヶ年計画が終了し、データの標準化と共有化の実現に迫りつつあるものの、まだまだ残された課題が多い現状にある。今一度、原点に立ち返り、データの標準化および共有化のための方向性を明らかにしたい。

12月12日(日)

9:20～11:30

第2会場

(文化会館 2F 小ホール)

皆で取り組む臨床検査技師教育 「魂と技術の伝承」 (3団体合同企画)

司会者：松尾 収二(天理よろづ相談所病院 臨床病理部)
今田 周二(平井病院 臨床検査科)

問題提起 臨床検査技師教育における連携の必要性

竹浦 久司(多根総合病院 中央検査部)

パネラー

大 学 鴨志田 伸吾(神戸大学大学院 保健学研究科)

技 師 養 成 校 山根 京子(大阪医療技術専門学校 臨床検査技師科)

学生実習施設 竹島 通(大津赤十字病院 検査部)

一 般 施 設 加藤 幸久(福井赤十字病院 検査部)

検査センター 加藤 竜美(日本医学臨床検査研究所 品質保証部)

メーカ― 小林 隆(日本臨床検査薬協会/栄研化学株式会社)

< ねらい >

卒前教育と卒後教育があり、両者は密接に関与している。パネルディスカッションのなかで両者を含めて討論する。医療全体において専門化が進む中、大学志向の傾向がある。しかし、一方、技術の継承は切実な問題となっている。人材教育は個々の施設では限界があり臨床検査に携わる者が協力して行わねばならない。関係者の連携を促すことを目的として討論を行う。

12月11日(土)

14:30～16:40

第1会場

(文化会館 1F 国際ホール)

検査部が見つけた病気 (3団体合同企画)

司会：岡本 康幸(奈良県立医科大学 中央臨床検査部)
小宮山 豊(関西医科大学 臨床検査医学)

WS1-1 腹部動脈血栓症患者の診断・治療における当院臨床検査部の 介入経験

稲葉 亨(京都府立医科大学附属病院)

WS1-2 血清蛋白の検査から見つけた病気

岡本 康幸(奈良県立医科大学附属病院)

WS1-3 早朝低血糖を認めた2型糖尿病の1例

伊東 裕之(天理よろづ相談所病院)

WS1-4 血液培養分離菌に対する考察の重要性 分離菌から感染源を推定し発見できた3症例

口広 智一(公立那賀病院)

WS1-5 脳波検査のパニック値

今井 竜子(奈良県立医科大学附属病院)

< ねらい >

病院の検査部は単に検査データを報告するだけでなく、疾患の診断にも重要な役割を担っています。このセッションでは、検査部が主体的に診断に関わった疾患の経験例を各施設からご紹介いただき、その経験から学んだこと(ものの見方・心構えなど)を共有していきたいと考えます。

教育セミナーセッション設置へのおもい

本学会では教育セミナーセッションを設け、会期中を通して一つの会場を教育セミナーに割り当てることにしました。学会では最新の技術、知識を議論する場ではありますが、若手・中堅技師への知識・技術の伝承の場としても位置づけたいと企画しました。さまざまな部門における知っておきたい基本的な知識・技術をその道のエキスパートに解説していただきます。2日間で、9セミナーを縦一列に並べましたので、複数のセミナーを受講することが可能です。それぞれのエキスパートが準備万端お待ちしております。学会でさまざまの方の発表を聞いて明日につながる活力を得るとよく耳にしますが、それにもう一つ、“近畿学会に参加すると基礎的な知識・技術を研修できる”を周知してもらい、「君、近畿学会に参加して教育セミナーを受講してきなさい」、「受講したいと考えています」が定着するような一歩になれば幸いです。

教育セミナー E-1

12月11日(土)

9:30～10:30

第8会場

(婦人会館 3F 大ホール)

血液検査情報の活かし方とピットホール

司会：胡内 久美子(県立奈良病院 中央臨床検部)

講師：池本 敏行(大阪医科大学附属病院 中央検査部)

< ねらい >

自動血球計数装置は、CBC・白血球分類・網赤血球を同時に測定できる機種が主流になっており初心者でも簡単に検査データを報告することが可能となっているしかし、基本の測定原理を理解し、各測定法の特徴・問題点を知ったうえで検査をすすめていかなければ、いずれ大きな落とし穴に落ちてしまうことになりかねない。今回は自動血球装置から報告される検査情報の活かし方とピットホールについて講演いただき、機器を使いこなせる技師をめざしていただきたいと思います。

教育セミナー E-2

12月11日(土)

10:40～11:40

第8会場

(婦人会館 3F 大ホール)

技師に必要な統計学を身につける ～統計の基礎を具体的事例で勉強しよう～

司会：河野 久(天理よろづ相談所病院 臨床病理部)

講師：木曾 加奈子(シスメックス株式会社)

< ねらい >

日常の検査値を正しく報告するだけなら、統計学は軽視されがちである。ただし、他の方法、他の検査値との比較や、検査値の意味を表したい時、必ず統計学の知識が必要となる。検査技師は何故、統計の勉強をしなくてはいけないのか？具体的にそこから一緒に考えてみよう。そして、発表、投稿で恥ずかしくない統計処理を身につけよう。

教育セミナー E-3

12月11日(土)

14:20～15:20

第8会場

(婦人会館 3F 大ホール)

ここだけは押さえておこう！ ビギナーのための尿沈渣検査

司会：宇野 良美(医療法人林病院)

E3-1 尿沈渣のいろは

講師：中野 幸弘(宝塚市立病院)

E3-2 地臨技サーベイから見る尿沈渣成分の鑑別

講師：佐伯 仁志(国立病院機構 京都医療センター)

< ねらい >

尿沈渣検査は形態検査であるが故に、個人差の生じる検査法でもある。また日直や当直勤務時など普段鏡検しない技師が鏡検したり、新人技師が配属される機会が多いのも一般検査室の特徴であり、いろんな技師が尿沈渣を鏡検する機会があると思われる。今回、こういった技師を中心に、尿沈渣成分をわかりやすく解説するとともに、近畿2府5県で実施されている過去3年分のフォトサーベイを収集し、これらの結果をもとに尿沈渣成分の鑑別点を述べ、ルーチン時に役立てていただければと思う。

教育セミナー E-4

12月11日 土

15:30～16:30

第8会場

(婦人会館 3F 大ホール)

グラム染色の重要性とその意義 ～臨床医が求める塗抹検査のあり方～

司会：佐野 麗子（奈良県立医科大学附属病院）

講師：米川 真輔（社会福祉法人恩賜財団 済生会中和病院）

< ねらい >

平成20年度の診療報酬改定により、検体管理加算の算定基準に『常時行える検査項目として微生物検査』が追加された。これによりグラム染色を実施できる検査体制が求められる様になり、特に微生物検査室がない病院においては大きな課題となっている。実際にグラム染色を実施できる検査体制が取れるか否かで診療報酬に大差が生ずる為、グラム染色を実践する為の技術と知識の習得を目的とする講習会の開催を熱望する意見が数多く技師会に寄せられた。それに答えるべく各府県の微生物研究班では、グラム染色に関するスキルアップを目的とした講演会や実技講習会などが行われて来た。その様な中で今回は、技師の目線でグラム染色を解説するのではなく感染症専門医の目線で、グラム染色の重要性とその意義について講演して頂く予定である。何故、グラム染色はこれ程までに重要視されるのか？臨床医はグラム染色に何を求め、どの様な時にどの様な情報提供（報告）を望んでいるのか？などについて具体的ケースを示して頂きながら感染症治療とグラム染色の関係について分かりやすく解説して頂く。

教育セミナー E-5

12月12日 日

9:20～10:05

第8会場

(婦人会館 3F 大ホール)

ABO および Rh 血液型抗原の特徴および変異型

司会：小林 洋子（福井大学医学部附属病院 輸血部）

講師：堀 勇二（大阪赤十字血液センター 研究三課）

< ねらい >

ABO および Rh 血液型の抗原物質をコードする遺伝子、変異型の分子遺伝学的背景について解説して頂き、検査の注意点や量的・質的異常とはどういうことか理解を深める。

教育セミナー E-6

12月12日(日)

10:15～11:30

第8会場

(婦人会館3F 大ホール)

急な胸痛と臨床検査 ～疾患・症状から迫る～

司会：河谷 浩（公立中央総合病院 検査科）

E6-1 医師が見る急性の胸痛 ―胸痛時に考える疾患・対応―

講師：泉 知里（天理よろづ相談所病院 救急診療部）

E6-2 胸痛時の臨床検査 ―有用性とピットホール―

講師：高橋 秀一（天理よろづ相談所病院 臨床病理部）

< ねらい >

疾患の病態と検査をリンクしよう。検査するときにしっかりと疾患を把握して検査できているだろうか？疾患を理解してしっかりと検査しているだろうか？このセミナーでは、急な胸痛があった場合の病態と検査の進め方について、症例を通して疾患の特徴、検査のポイントやピットホールについて学んでもらいたい。

教育セミナー E-7

12月12日(日)

14:10～14:45

第8会場

(婦人会館3F 大ホール)

ステップアップ超音波検査 ～下部消化管領域を中心に～

司会：木下 博之（社会保険紀南病院 中央臨床検査部）

講師：岩崎 信広（神戸市立医療センター中央市民病院 臨床検査技術部）

< ねらい >

消化管に対する超音波検査は、イレウスなどの閉塞性疾患のみならず、腸炎など炎症性疾患への有用性も認識されるようになってきた。しかしながら、日々の検査に広く利用されるまでには達していない部分もあると思われる。今回は、消化管の超音波検査、特に下部消化管を中心にその解剖や走査法、検査の進め方、また症例を呈示してもらい判読のポイントについて解説していただく。

教育セミナー E-8

12月12日(日)

14:50～15:25

第8会場

(婦人会館3F 大ホール)

これから始める下肢静脈超音波検査

司会：畑 久勝(済生会滋賀県病院 臨床検査科)

講師：辻 真一郎(京都桂病院 検査科)

< ねらい >

深部静脈血栓症に対する超音波検査は、被検者への負担が少なく侵襲性が低いうえにリアルタイムに観察できることから、広く利用されるようになってきた。特に、周産期や周術期の静脈血栓症への取り組みが普及するとともに検査の要望も増加している。今回は、下肢静脈血栓症に対する超音波検査をこれから始めようとする方を対象に、下肢静脈の解剖や走査法、検査の進め方について解説していただく。

教育セミナー E-9

12月12日(日)

15:30～16:30

第8会場

(婦人会館3F 大ホール)

術中モニターの検査体制確立について

司会：高谷 恒範(奈良県立医科大学附属病院)

講師：瀬川 義朗(天理よろづ相談所医学研究所)

< ねらい >

術中モニターを継続して行うための体制作りについてモニターを実施するにあたり、手技的な解説や理論的な解説ではなく、術中モニターに対してどう取り組むか、検査室として何が必要か、他の職種との連携などについて解説する。

また、実際にモニターを実施するまでに準備しなくてはならないことについても解説していただく。

一般演題・企業プレゼンテーション

近畿医学検査学会・日本臨床検査医学会近畿支部総会

1日目 12月11日(土) [K]:近畿医学検査学会、N):日本臨床検査医学会近畿支部総会]

第1会場(文化会館 1F 国際ホール)

[免疫血清]

9:30~10:15

座長: 榎田 緑(関西医科大学 臨床検査医学)

繁 正志(大阪医科大学附属病院 中央検査部)

- O-1 血清補体価(CH50)測定試薬の比較検討
西山 有紀子^{N)} 京都大学医学部附属病院 検査部
- O-2 当院の免疫反応における非特異反応の成績と確認試験を実施した症例の追跡調査
藤川 麻由美^{K)} 天理よろづ相談所病院
- O-3 CEA が測定試薬によって乖離した症例
吉田 雅紀^{K)} 奈良県立奈良病院
- O-4 安定した ProGRP 測定値を得るための検体保存条件
増田 千紘^{K)} 地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪府立成人病センター臨床検査科
- O-5 ProGRP 測定の検討
入汐 弘美^{N)} 大阪府立急性期・総合医療センター 臨床検査科

10:15~11:00

座長: 上田 一仁(大阪医科大学附属病院 中央検査部)

狩野 春艶(兵庫医科大学病院 臨床検査部)

- O-6 CLEIA 法による特異アレルギー検査の基礎的検討
中塚 賢一^{K)} 和歌山県立医科大学附属病院
- O-7 BNP とスペクトルトラッキング法による心筋壁運動評価の關係の検討
枅尾 茂^{K)} 奈良県立三室病院
- O-8 アーキテクト・シクロスポリン測定試薬の基礎検討と導入効果
西原 佑昇^{K)} 松下記念病院 中央臨床検査部
- O-9 血球細胞除去用浄化器アダカラム適用による可溶性 Fc γ RIIIs の減少
榎田 緑^{N)} 関西医科大学 臨床検査医学講座
- O-10 アルツハイマー病前頭葉切片のアミロイド β 、MBP、TTR の MALDI-MS イメージング
上田 一仁^{N)} 大阪医科大学附属病院 中央検査部

11:00~11:36

座長: 林 伸英(神戸大学医学部附属病院 検査部)

松川 裕一(社会保険滋賀病院 検査部)

- O-11 迅速免疫測定 POCT 対応装置「AQT90FLEX」による NT-proBNP の基礎的検討
成田 弓子^{K)} 国立病院機構 京都医療センター
- O-12 迅速免疫測定 POCT 対応装置「AQT 90 FLEX」による CRP の基礎的検討
相原 美奈子^{K)} 国立病院機構 京都医療センター 臨床検査科
- KP-1 小型化学発光免疫自動分析装置「POCube」の測定原理と特徴、その応用例
曾家 義博 東洋紡績株式会社

[生理]

9:30～10:06

座長：森嶋 良一(奈良医大附属病院 中央臨床検査部)
福岡 恵子(神戸大学医学部附属病院 検査部)

- O-13 NPPV 装着患者に見られた発作性上室頻拍の1症例
総江 賢二^{K)} 財団法人近江兄弟社 ヴォーリス記念病院
- O-14 勤務中における臨床検査技師の運動量およびストレス度の変動
小宮山 妙恵果^{K)} 奈良県立医科大学 中央臨床検査部
- O-15 抗不整脈剤(塩酸ピルジカイニド)の副作用により wide QRS を呈した2例
南 義弘^{K)} 天理よろづ相談所病院
- O-16 運動負荷心エコーにおけるワイヤレス負荷心電計(Duna ワイヤレス負荷心電計の有用性)
前田 久美子^{K)} 大阪掖済会病院検査室

10:06～11:27

座長：小林 昌弘(天理よろづ相談所病院 臨床病理部)
高谷 恒範(奈良医大附属病院 中央臨床検査部)

- O-17 小児の低振幅脳波を認めた2症例について
山本 さよみ^{K)} 奈良県立医科大学附属病院
- O-18 脳波検査が有用であったクロイツフェルト・ヤコブ病の1例
宮井 沙緒里^{K)} 和歌山県立医科大学附属病院
- O-19 術中 MEP モニタリング検査が有用であった症例
深町 圭子^{K)} 奈良県立医科大学附属病院
- O-20 運動誘発電位による術中モニタリングが有用であった胸椎脊髄腫瘍の1例
隈 りえ^{K)} 医仁会武田総合病院
- O-21 神経伝導検査における皮膚温の影響
諸井 ひろみ^{K)} 天理医学技術学校
- O-22 膠原病患者における末梢神経伝導検査の検討
池成 真美^{K)} 京都大学医学部附属病院検査部
- O-23 当院における新生児聴覚スクリーニングについて
島田 真弓^{K)} 綾部市立病院
- O-24 当院における新生児聴覚スクリーニング検査に対する保護者意識調査のアンケート集計について
小海途 初音^{K)} 医療法人社団石鏡会 田辺中央病院 臨床検査科
- O-25 当院で経験した両側メニエール病の一例
澤 知佳^{K)} 奈良県立奈良病院中央臨床検査部

[病理]

9:30～10:42

座長：太田 善夫(近畿大学医学部奈良病院 臨床検査部)

水口 洋一(日本生命済生会附属日生病院 中央検査部)

- O-26 グロコット染色における酸化過程とメセナミン銀液の検討と
前加温後アルカリ化法の有用性①
加藤 順子^{K)} 奈良県立医科大学附属病院病理部
- O-27 グロコット染色における酸化過程とメセナミン銀液の検討と
前加温後アルカリ化法の有用性②
田辺 雅世^{K)} 奈良県立医科大学附属病院病理部
- O-28 肺癌の稀な組織亜型および進展
丸山 博司^{N)} 星ヶ丘厚生年金病院 臨床検査科
- O-29 原発性胆汁性肝硬変患者に発生した肝反応性リンパ濾胞過形成の1例
石田 光明^{N)} 滋賀医科大学付属病院 検査部・病理部
- O-30 ダコ Autostainer Link48(自動免疫染色装置)における操作性および
染色性に関する検討(ロシュ ベンチマーク HX と比較して)
橋本 康弘^{K)} 大阪警察病院付属 臨床検査センター 病理課
- O-31 連続迅速自動固定包埋装置における免疫組織化学染色法に関する検討
小柳 逸子^{N)} 京都大学医学部附属病院 検査部
- KP-2 分子生物学的手法による乳癌リンパ節転移検査
吉田 美央 シスメックス株式会社

10:42～11:36

座長：丸山 博司(星ヶ丘厚生年金病院 臨床検査科)

江口 光徳(宇治徳洲会病院 検査科)

- O-32 三次元培養法を用いた甲状腺濾胞の再構築
小林 渉^{N)} 大阪大学医学系研究科保健学専攻生体情報科学講座
- O-33 前立腺・膀胱周囲から発生したと考えられた孤立性線維性腫瘍
(Solitary fibrous tumor)の1例
荒垣 誠実^{K)} 株式会社 いかかく
- O-34 気管無形成の1例
太田 善夫^{N)} 近畿大学医学部奈良病院 臨床検査部
- O-35 胃癌に対する HER2 適用の検討
小林 真^{K)} 阪兵庫県臨床検査研究所
- O-36 乳癌における steroid sulfatase (STS) タンパク免疫染色の基礎検討
今川 奈央子^{K)} 国立大学法人神戸大学医学部附属病院 病理部
- O-37 腺癌・扁平上皮癌の鑑別に有用な迅速免疫多重染色法の開発
柳田 絵美衣^{K)} 神戸大学医学部附属病院 病理部

[血液]

9:30 ~ 10:33

座長：小宮山 豊(関西医科大学 臨床検査医学)
基盤 法子(京都医療センター 臨床検査科)

- O-38 コアグピア PT-N およびコアグピア APTT-N の基礎的検討
服部 真一^{K)} 京都府立医科大学附属病院 臨床検査部
- O-39 CoaguChekXS 院内導入の検討
新井 郁子^{K)} 近江八幡市立総合医療センター
- O-40 測定パラメーター及びキャリブレーターが変更された改良法と従来法の
ナノピア P-FDP の比較
高田 章美^{K)} 天理よろづ相談所病院
- O-41 人工股関節置換術後の合併症における血液凝固線溶マーカーの有用性
山口 知紗^{K)} 済生会和歌山病院
- KP-3 全自動血液凝固測定装置 CS-2000i/CS-2100i の凝集法を用いた
フォンビルブランド因子活性の測定
向出 佳恵 シスメックス株式会社
- O-42 トロンビン生成能を用いた後天性血友病 A の凝固機能評価
松本 智子^{N)} 奈良県立医科大学 小児科

10:33 ~ 11:36

座長：稲葉 亨(京都府立医科大学臨床 検査部)
中村 恒仁(済生会中津病院 検査技術科)

- O-43 早期発見しえた慢性骨髄性白血病の一例
白土 美佳^{K)} 奈良県立医科大学附属病院
- O-44 cup-like 核型を呈する AML の2例
塩崎 尚子^{K)} 松下記念病院 中央臨床検査部
- O-45 Leukoerythroblastosis を呈した粟粒結核の2症例
日置 貴美子^{N)} 天理よろづ相談所病院 臨床病理部
- O-46 セザリ症候群において PUVA 療法、トポイソメラーゼⅡ阻害剤投与により
inv (16) の治療関連白血病を発症した一例
山口 悠樹^{K)} 近畿大学堺病院 SRL 検査室
- O-47 骨髓組織標本(メッシュ法)が診断に有用であった AL アミロイドーシスの1例
津田 勝代^{K)} 天理よろづ相談所病院
- O-48 B細胞性悪性リンパ腫の骨髓浸潤における染色体検査の有用性
奥村 敦子^{K)} ㈱天理よろづ相談所医学研究所
- O-49 吻合部出血を契機に発見した後天性血友病の1例
小宮山 豊^{N)} 関西医科大学 臨床検査医学講座

14:20～15:23

座長：河野 誠司（神戸大学医学部附属病院 検査部）
西村 精児（近江八幡市立総合医療センター 中央検査科）

- O-64 網状赤血球数機械測定への導入に向けての検討
伊東 宏美^{K)} 大阪府立泉州救命救急センター検査室
- O-65 VSC フローサイトメトリー法におけるニューリサーチパラメータの基礎的検討
前川 彩香^{K)} 奈良県立医科大学附属病院
- O-66 ユニセル DxH800の基礎的検討
浅田 薫^{K)} 財団法人田附興風会医学研究所北野病院臨床検査部
- O-67 自動血球計数装置 ADVIA2120i の Cellular HGB 測定の有用性について
柳田 裕紀^{K)} 奈良県立奈良病院
- O-68 多項目自動血球分析装置 XT-4000 i による体腔液細胞数測定への基礎的検討
大畑 加恵^{N)} 関西医科大学附属枚方病院 臨床検査部
- O-69 血小板由来マイクロパーティクル測定への基礎的検討
豆田 清美^{K)} 奈良県立医科大学附属病院
- O-70 4カラー5マーカーによる T 細胞、B 細胞、T 細胞サブセット比率の同時測定への試み
河野 江利子^{K)} 大阪医科大学附属病院中央検査部

15:23～16:26

座長：田窪 孝行（大阪医科大学総合医学講座 臨床検査医学）
三村 喜彦（兵庫県立西宮病院 検査・放射線部）

- O-71 当院における非腫瘍性前駆 B 細胞 (Hematogones) の出現状況について
山口 直子^{K)} 奈良県立医科大学附属病院
- O-72 血小板数と血小板粒度分布幅 (PDW) および平均血小板容積 (MPV) との相関性について
高木 美見^{K)} 株式会社サンキメディカル検査センター
- O-73 骨髓塗抹標本における骨髓片による細胞密度判定
岸森 千幸^{K)} 天理よろづ相談所病院
- O-74 CBC の再検は本当に必要か？
永井 直治^{K)} 天理よろづ相談所病院
- O-75 赤血球恒数の個人内変動の解析
山本 あい美^{K)} 天理よろづ相談所病院
- O-76 採血後の注射器放置がヘモグロビン値に及ぼす影響とその要因
杉山 晴彦^{K)} 天理医学技術学校
- O-77 非接触型静脈可視化装置 StatVein により描出される皮静脈血管径の評価と実際の使用
河島 誠司^{K)} 国立大学法人神戸大学医学部附属病院 検査部

[微生物]

9:30 ~ 10:33

座長：山住 俊晃(育和会記念病院)
坪井 房幸(市立長浜病院 中央検査技術科)

- O-50 小児の頭部白癬から *Trichophyton violaceum* を分離した1症例
佐子 肇^{K)} 独立行政法人 国立病院機構大阪医療センター研究検査科
- O-51 *Vibrio cholerae* non-O1 による髄膜炎の一例
高月 要佑^{K)} 大阪赤十字病院検査部
- O-52 抗癌剤治療中に血液培養から検出された *Helicobacter cinaedi* の1症例
澤井 陽一^{K)} 社会福祉法人恩賜財団大阪府済生会吹田病院臨床検査科
- O-53 VCM 治療中に VISA へと耐性化した1例
喜多 いずみ^{K)} 近畿大学医学部附属病院中央臨床検査部
- O-54 RS ウィルスと細菌の複合感染について
三枝 康治^{K)} 日本医療学院専門学校
- O-55 肺炎球菌の薬剤耐性状況に関する検査成績
田中 裕人^{K)} ファルコバイオシステムズ 総合研究所
- O-56 当院で分離された Group B *streptococcus* の血清型別と薬剤感受性に関する検討
小池 千裕^{N)} 関西医科大学附属枚方病院 臨床検査部

10:33 ~ 11:36

座長：一山 智(京都大学医学部 臨床病態検査学)
伏脇 猛司(結核予防会大阪府支部大阪病院 臨床検査科)

- O-57 当院における過去5年間の入院・外来別 MRSA 検出状況について
吉田 真美^{N)} 兵庫医科大学病院 臨床検査部
- O-58 介護老人保健施設入所者の ESBL 産生菌保菌について
仁木 真理恵^{K)} 大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻生体情報科学講座
- O-59 日本の健康人における ESBL 産生菌の保菌率
中田 有理沙^{K)} 大阪大学医学系研究科 保健学専攻 生体情報科学講座
- O-60 過去6年間における抗酸菌培養検査集計と結核院内感染対策
野村 ちづる^{N)} 財団法人住友病院 診療技術部 感染対策室
- O-61 当院における微生物検査情報システムと感染症管理システムについて
藤田 幸史郎^{K)} 大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター 臨床検査科
- O-62 株式会社「いかがく」におけるデータマイニング*解析に基づいた感染制御支援チーム(ICST)の活動
和田 昌巳^{K)} 株式会社 いかがく
- O-63 当院における ICT 病棟ラウンドー ICMT として
鈴木 恭子^{K)} 社会保険紀南病院

[生理]

14:20～15:14

座長：岩谷 良則（大阪大学大学院医学系研究科）
三木 俊（八尾市立病院 中央検査部）

- O-78 良性病変を経過観察中に早期の乳癌を発見することができた2症例
西村 理恵子^{K)} 社団法人京都保健会 京都民医連中央病院
- O-79 胃癌乳腺転移の1例
山本 真由美^{K)} 社会医療法人愛仁会 千船病院 検査科
- O-80 当院にて経験したIgG4関連硬化性唾液腺炎の2症例
広瀬 幸乃^{K)} 医仁会武田総合病院
- O-81 頸動脈超音波検査における遠位部椎骨動脈の評価について
南 佳世^{K)} 天理医学技術学校
- O-82 頸動脈血流波形異常の経過観察が頭蓋内外の血流動態把握に有用であった一例
神田 明子^{K)} 天理よろづ相談所病院
- O-83 Flow-Mediated Dilatation (FMD) における MIST システムの有用性
川原 久美子^{K)} 大阪掖済会病院検査室

15:14～15:50

座長：高橋 伯夫（関西医科大学 臨床検査医学）
塚田 孝法（公立丹南病院 臨床検査室）

- O-84 心エコー図を契機に発見された右胃大網動脈バイパスグラフト術後の横隔膜ヘルニアの1例
大前 嘉良^{K)} 社会保険紀南病院
- O-85 肝細胞癌の治療中に発見された左室内巨大心臓腫瘍の一例
吉田 秀子^{K)} 奈良県立医科大学附属病院
- O-86 石灰化を伴った左房粘液腫の衝突で腱索断裂が生じ、高度僧帽弁逆流を呈した一例
木村 尚貴^{K)} 独立行政法人 労働者健康福祉機構 大阪労災病院臨床検査科
- O-87 右室内に巨大血栓を認めた一症例
盛本 美恵子^{K)} 関西医科大学附属枚方病院 臨床検査部

15:50～16:26

座長：藤本 真一（奈良医大教育開発センター）
安保 浩二（大阪市立大学附属病院 中央臨床検査部）

- O-88 僧帽弁形成術後のリング外れを3D 経食道心エコー図法で診断し得た1症例
杉林 幸代^{K)} 関西医科大学附属枚方病院 臨床検査部
- O-89 スペックルトラッキング法による壁運動評価と EF との関係の検討
栗岡 利里子^{K)} 奈良県立三室病院
- O-90 2D-speckle tracking による心房ストレイン測定精度の検討
角谷 知亜紀^{K)} 医療法人厚生会 福井厚生病院
- O-91 4D Auto-LVQ の使用経験
竹村 利恵^{K)} 奈良県立三室病院

[臨床化学]

9:20~10:05

座長: 奥井 幸三(公立甲賀病院 中央検査室)
小笠原 志郎(公立那賀病院 中央検査科)

- O-92 血中ヒアルロン酸測定試薬「LT オートワークーヒアルロン酸」の基礎検討
赤井 充^{K)} 社会医療法人誠光会草津総合病院診療技術部
- O-93 シスタチン C ラテックス「生研」についての基礎検討
田中 規仁^{K)} 独立行政法人労働者健康福祉機構 和歌山労災病院
- O-94 ラテックス免疫比濁法によるインスリン測定試薬「サイアス INSULIN II」の基礎検討
和田 哲^{N)} 株式会社ファルコバイオシステムズ総合研究所
- O-95 高速凝固促進剤入り採血管(ヘパリン加血用)運用方法の検討
石井 里佳^{K)} 兵庫医科大学病院 臨床検査部
- O-96 5種の市販カルシウム測定試薬の基礎性能評価
中村 美保^{K)} ファルコバイオシステムズ総合研究所

10:05~10:41

座長: 南部 昭(京都府立医科大学附属病院)
草尾 恵(奈良県立三室病院 中央臨床検査部)

- O-97 塩酸添加蓄尿検体における尿生化学検査結果の信頼性
西垣 美友希^{K)} 近畿大学医学部附属病院
- KP-4 日常検査における自動分析装置の異常データの発見とその対応策
古後 富久 日本電子株式会社
- O-98 血清蛋白電気泳動像より IgG4 の増加を検出する
松田 徳子^{K)} 天理よろづ相談所病院

10:41~11:26

座長: 岡本 康幸(奈良県立医科大学附属病院 中央臨床検査部)
米田 孝司(オリエンタル酵母工業(株) 長浜事業所)

- O-99 腰椎圧迫骨折を契機としてミルクアルカリ症候群を呈した1症例
大峠 和彦^{N)} 天理よろづ相談所病院 臨床病理部
- O-100 デカドロン注射液添加物クレアチニンによって一過性に高クレアチニン血症を呈した症例
今道 美津子^{N)} 株式会社ファルコバイオシステムズ 総合研究所
- O-101 肺がん患者における BNP 高値を疑う一症例
佐藤 晴久^{K)} 洛和会 丸太町病院
- O-102 高感度トロポニン T 測定試薬の性能評価とこれによる心不全診断の可能性について
大倉 ひろ枝^{N)} 関西医科大学附属枚方病院 臨床検査部
- O-103 アナログインスリン使用糖尿病患者における血中の抗インスリン抗体について
三家 登喜夫^{N)} 和歌山県立医科大学 医学部 臨床検査医学

[微生物]

9:20~10:32

座長：川端 直樹(市立敦賀病院 検査室)
小森 敏明(京都府立医科大学病院 臨床検査部)

- O-104 Light Cycler を用いた迅速 Random Amplified Polymorphic DNA assay の確立
衣笠 佑基^{K)} 天理医学技術学校
- O-105 MicroScan Pos Combo パネルにおける *Staphylococcus aureus* 誤同定に
関する考察
山田 真由花^{K)} ファルコバイオシステムズ 総合研究所
- O-106 MIC 測定値と菌液調整方法の影響についての解析
伊豫田 龍治^{K)} 株式会社 いかがく
- O-107 細菌性膣症におけるグラム染色と BV スコアおよび培養検査の臨床への貢献度
松谷 日路子^{K)} 天理よろづ相談所病院
- O-108 胸水等培養検査における血液培養ボトルの応用に関する基礎的検討
田中 洋子^{K)} 京都大学医学部附属病院
- KP-5 プロカルシトニンの迅速測定について
渡辺 光雄 和光純薬工業株式会社
- O-109 血液培養陽性患者におけるプロカルシトニン測定の検討
小林 曜子^{N)} 神戸大学医学部附属病院 検査部

[輸血]

10:32~11:17

座長：宮野 章(大阪府立母子保健総合医療センター)
藤田 往子(近畿大学医学部附属病院 輸血部)

- O-110 PEG 間接抗グロブリン法の温生食洗浄は免疫抗体検出感度を低下させる
荒井 優佳^{K)} 天理医学技術学校
- O-111 急激な溶血を引き起こす IgG- κ タイプの冷抗体を検出した 1 症例
高橋 明徳^{K)} 天理よろづ相談所病院
- O-112 3回の妊娠にもかかわらず抗 Rh17 抗体を認めなかった - D - の 1 症例
塩澤 洋子^{K)} 公立南丹病院内 SRL 検査室
- O-113 当院における自己血輸血の現状
高木 豊雅^{K)} 奈良県立奈良病院
- O-114 院内輸血療法の実態を知るための院内輸血監査委員会の発足
森本 武次^{K)} 天理よろづ相談所病院

[チーム医療]

14:10～15:04

座長：福田 篤久（大阪府立泉州救命救急センター）
長谷川 章（高の原中央病院 臨床検査科）

- O-133 脱水により栄養蛋白値が変動した1例
西尾 基^{K)} 近畿大学医学部附属病院中央臨床検査部
- O-134 栄養サポートチームにおける臨床検査技師の役割
神農 和枝^{K)} 社会医療法人若弘会 若草第一病院 臨床検査課
- O-135 NST 活動における低アルブミン患者リスト作成システムの構築とその活用
吉岡 秀樹^{N)} 関西医科大学附属枚方病院 臨床検査部
- O-136 SMBG データの一元管理と外来支援
中本 章^{K)} 社会保険紀南病院
- KP-7 臨床現場で求められる血糖測定と糖尿病治療サポートシステム
渋谷 未来 株式会社 堀場製作所

15:04～16:07

座長：尾鼻 康朗（近畿大学医学部奈良病院）
小宮山 恭弘（大阪鉄道病院 臨床検査室）

- KP-8 アイ・スタットシステムの性能と特長について
加藤 和彦 国際医療福祉大学熱海病院
- O-137 当検査室における血液疾患患者病態把握の取り組み
森 真美^{K)} 財団法人住友病院 診療技術部
- O-138 当院生理検査における心臓リハビリテーションへの取り組み
白樫 勝亮^{K)} 財団法人大阪府警察協会大阪警察病院臨床検査科
- O-139 医療従事者のあり方についての一考察
岡 美也子^{K)} 奈良県立三室病院
- O-140 臨床検査技師としてがん登録に係って
吉田 恵三子^{K)} 天理よろづ相談所病院
- O-141 大阪府臨床検査技師会 内視鏡部会の紹介
出野 憲由^{K)} 独立行政法人 労働者健康福祉機構 大阪労災病院臨床検査科

[免疫血清]

10:23～11:26

座長：日高 洋(大阪大学大学院医学系研究科)
三嘴 隆一(大津赤十字病院 検査部)

- O-115 自動分析装置 LABOSPECT008による梅毒 RPR 試薬の基礎的検討
中本 和男^{K)} 奈良県立奈良病院
- O-116 日立7180を用いた梅毒脂質抗体試薬「ラビディアオート RPR」の基礎的検討
馬場 由美^{K)} 奈良県立医科大学附属病院
- O-117 第4世代エクルーシス試薬 HIVcombi キットの使用経験
問本 佳子^{K)} 奈良県立医科大学附属病院
- O-118 HISCL HBsAg 試薬の基礎的検討および HBs 抗原定量値の有用性の検討
中村 恵利那^{N)} シスメックス株式会社 学術部
- O-119 HBs 抗原検査における4機種間の判定比較
佐藤 京子^{K)} 天理よろづ相談所病院
- KP-6 感染症にもコントロール測定を
宝田 三津子 協和メデックス株式会社

[一般]

14:10～14:46

座長：山西 八郎(大阪大学医学部附属病院 臨床検査部)
高田 穂波(奈良県立医科大学附属病院 中央臨床検査部)

- O-142 尿蛋白測定におけるクレアチニン補正尿試験紙の性能評価
山本 憲司^{K)} 大阪医科大学附属病院中央検査部
- O-143 硝子円柱増加は腎機能低下を反映するのか？
潮崎 裕也^{K)} 天理よろづ相談所病院
- O-144 当院における一般検尿での異型細胞報告
愛甲 佐津紀^{K)} 財団法人住友病院診療技術部臨床検査技術科
- O-145 便潜血定性検査キットの検討
川村 文^{K)} 奈良県立奈良病院 中央臨床検査部

14:46～15:22

座長：田原 昇(国家公務員共済組合連合会 大手前病院)
佐伯 仁志(NHO 京都医療センター 臨床検査科)

- O-146 夜間当直時の ADVIA 法による CSF ASSAY 導入に向けての検討
山田 浩二^{K)} 奈良県立奈良病院 中央臨床検査部
- O-147 連続携行式腹膜透析(CAPD)における透析液中白血球数の安定性について
森本 創世子^{N)} 大阪大学医学部附属病院 臨床検査部
- KP-9 全自動尿分析装置 US-3100Rplus のカラー CCD センサによる
画像解析システムの有用性
鈴木 正隆 栄研化学株式会社

[臨床化学]

15:22～15:58

座長：三家 登喜夫(和歌山県立医科大学医学部 臨床検査医学)
芝原 裕和(関西労災病院 検査科)

**O-148 HPLC-ECD による尿中8-OHdG 測定とダウン症および
小児悪性腫瘍患児の酸化ストレスについての検討**

内池 敬男^{K)} 奈良県立医科大学附属病院

O-149 CRP 測定試薬の変更から判明したデータ乖離の一例

飯田 一博^{K)} 株式会社 いかがく

O-150 人工関節置換術後に CPK が異常高値を示したコンパートメント症候群の一例

喜舎場 智之^{K)} 社会医療法人財団 医療福祉センター阪南中央病院臨床検査科

O-151 妊婦におけるレムナントリポ蛋白中コレステロール値の異なる測定法による乖離

田中 忍^{N)} 奈良県立医科大学附属病院 中央臨床検査部

15:58～16:34

座長：池本 正生(京都大学医学部 保健学科)
坂東 雅彦(健康保険組合連合会大阪中央病院 中央検査部)

KP-10 小型臨床化学検査装置“BBx”について

藤田 利之 ニットーボーメディカル株式会社

O-152 塗装工企業健診における結果の特徴

瀬戸 美悠^{K)} 大阪掖済会病院検査室

O-153 血中アクロレイン(ACR: Acrolein)の新規測定法

原 克子^{N)} 関西医科大学附属滝井病院 臨床検査部

[細胞]

9:20～10:05

座長：岡部 英俊（滋賀医科大学病院 検査部）
三原 勝利（星ヶ丘厚生年金病院 検査部）

- O-120 内臓細胞診にて異型細胞を認めなかった子宮体部腫瘍の一例
米田 紋^{K)} 赤穂市民病院
- O-121 子宮体部明細胞腺癌の2例
木下 勇一^{K)} 関西医科大学附属 滝井病院 臨床検査部
- O-122 尿細胞診で尿路上皮癌との鑑別が困難であった胃癌・尿管転移の1例
植田 聡美^{K)} 独立行政法人国立病院機構姫路医療センター 研究検査科
- O-123 乳腺粘液瘤様病変（mucocoele-like lesion：MLL）の一例
小関 久恵^{K)} 奈良県立医科大学附属病院
- O-124 体腔液における細胞診の免疫染色
藤田 良生^{K)} 独立行政法人 国立病院機構近畿中央胸部疾患センター 研究検査科

[血液]

10:05～10:41

座長：吉田 正明（社会保険滋賀病院）
梅木 弥生（奈良県立三室病院 中央臨床検査部）

- O-125 止血凝固検査検体の保存の影響
片岡 美香^{K)} 奈良県立医科大学附属病院
- O-126 検体凍結における血漿緩衝化の有用性
竹尾 映美^{N)} 大阪大学医学部附属病院 医療技術部
- O-127 滋賀県臨床検査技師会精度管理血液部会の取り組み
黒川 龍美^{K)} 公立甲賀病院
- O-128 当施設におけるサーベイ評価方法からの考察
川部 真由子^{K)} 松下記念病院 中央臨床検査部

[管理運営]

10:41～11:17

座長：朝山 均（日本医学臨床検査研究所）
高田 厚照（関西医科大学香里病院 臨床検査部）

- O-129 当院中央検査部における検体再採取の現状解析
大比良 ひとみ^{K)} 大阪医科大学附属病院中央検査部
- O-130 当院における臨床検査内部監査の現状と監査人の役割
岡田 賢二郎^{K)} 近畿大学医学部奈良病院
- O-131 探究心の大切さ
荒賀 智永^{K)} 綾部市立病院
- O-132 TDM 検査の迅速報告体制について
土井 和仁^{N)} 大阪市立総合医療センター 中央臨床検査部

[遺伝子]

14:10～15:04

座長：渡邊 幹夫（大阪大学大学院医学系研究科）
山本 章史（大阪府立成人病センター 臨床検査科）

- O-154 IL16 及び MCP1 遺伝子の機能的多型と自己免疫性甲状腺疾患の病態予後との関連
赤羽 舞子^{N)} 大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻生体情報科学講座
- O-155 DNMT1 の遺伝子多型と自己免疫甲状腺疾患の病態予後との関連
荒川 裕也^{N)} 大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻生体情報科学講座
- O-156 IL21R-4610C/T 多型の機能と自己免疫性甲状腺疾患との関連
武村 和哉^{N)} 大阪大学大学院 医学系研究科保健学専攻 生体情報科学講座
- O-157 RUNX1-CBFA2T3 キメラ遺伝子の定量的 PCR 法の検討
野口 依子^{K)} 神戸大学医学部附属病院 検査部
- O-158 全自動遺伝子解析装置 GENECUBE（東洋紡）の検討
奥田 和之^{K)} 関西医科大学附属枚方病院 臨床検査部
- O-159 大阪府立成人病センターにおける骨軟部腫瘍遺伝子検査の現状
中西 めぐみ^{K)} 地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪府立成人病センター臨床検査科

[生理]

15:04～15:49

座長：藤澤 義久（滋賀医科大学附属病院 検査部）
野口 幸彦（三菱京都病院 生理検査科）

- O-160 腕幅より求めた予測身長が呼吸機能検査評価に及ぼす影響
吉村 葵^{K)} 天理医学技術学校
- O-161 肺活量と1秒量の予測式の違いによる評価の差と矛盾点
北川 実美^{K)} 天理よろづ相談所病院
- O-162 予備呼吸フローは末梢気道閉塞状態を把握できるか？
勝田 唯^{K)} 天理よろづ相談所病院
- O-163 健常人における『笑いヨガ』の呼吸機能・心理面に及ぼす影響
今田 千鶴^{K)} 町立吉野病院
- O-164 PSG 検査時の夜間血圧、早朝血圧についての検討
山口 たか子^{K)} 南大阪病院 臨床検査科

15:49～16:25

座長：武内 徹（大阪医科大学 第一内科学）
三宅 崇人（和歌山労災病院 中央検査科）

- O-165 脾漿液性嚢胞腫瘍の1症例
西畑 恵美^{K)} 公立豊岡病院 臨床検査科
- O-166 腫瘍との鑑別に苦慮した肝血腫の一例
本田 法子^{K)} 京都桂病院
- O-167 腹部圧迫法を用いた超音波エラストグラフィーによる肝硬度の試み
松野 悦子^{K)} 海南市民病院
- O-168 当院における ARFI による肝線維化の有用性
山口 敬子^{K)} 奈良県立奈良病院 中央臨床検査部

日本衛生検査所協会近畿支部学術研究発表会

1日目 12月11日(土)

第6会場(文化会館 BF1 多目的室)

9:30~9:39

日本衛生検査所協会近畿支部学術委員長あいさつ

佐守 友博

日本医学臨床検査研究所

9:39~10:33

座長: 下出 正幸(日本医学臨床検査研究所)

竹内 秀史(日本医学)

O-169 「エクルーシス試薬 Anti-Tg」および「エクルーシス試薬 Anti-TPO」の基礎的検討

英 和良

株式会社ファルコバイオシステムズ 総合研究所

O-170 Modular Analytics E170を用いた「エクルーシス試薬 TRAb」の基礎的検討

梶谷 なつみ

株式会社ファルコバイオシステムズ 総合研究所

O-171 エクルーシス試薬 TRAb、Anti-TPO、Anti-Tgの基礎的検討

寺岡 正志

株式会社 いかがく

O-172 血清中抗 p53 抗体測定改良試薬「MESACUP anti-p53テスト」の基礎的検討

山本 康博

株式会社ファルコバイオシステムズ 総合研究所

O-173 全自動分析装置「Quad-MACS」を用いた抗核抗体(IFA)の性能評価

谷 加奈

(株)日本医学臨床検査研究所 本社検査部

O-174 イオン強度の調整による血清補体価の安定性

東山 友香

(株)兵庫臨床検査研究所

10:33~11:36

座長: 山本 幸司(近畿予防医学研究所)

岡本 豊(阪大微生物病研究会)

O-175 当所における不規則抗体検査の受託状況について

多胡 聖子

社団法人 京都微生物研究所

O-176 ラテックス凝集法による前立腺特異抗原(PSA)測定試薬の基礎的検討

北林 佐梨

ファルコバイオシステムズ総合研究所

O-177 自然尿細胞診で推定された分化型尿路上皮癌の症例

能勢 勉

株式会社メディック 病理細胞診センター

O-178 上皮内癌を伴った子宮上皮内腺癌の1例

川嶋 雅也

(株)兵庫臨床検査研究所

O-179 VITEK2感受性カードのセフォキシチンスクリーニング試験による MRSA 鑑別

足立 陸宏

(株)日本医学臨床検査研究所 本社検査部

O-180 *Clostridium difficile* 検出用各種選択分離培地の性能比較

宮本 純

ファルコバイオシステムズ総合研究所 検査三課

O-181 クォンティフェロン TB- ゴールド導入検討における基礎的検討

高橋 洋子

エスアールエル 関西ラボラトリー

2日目 12月12日(日)

第6会場(文化会館 BF1 多目的室)

9:20～10:05

座長：今村 茂男(いかがく)

鳩宿 敏彦(ファルコバイオシステムズ)

O-182 アミノ酸製剤「アミノレバン」の多項目自動血球分析装置への影響

小川 和哉 株式会社ファルコバイオシステムズ 総合研究所

O-183 肺結核感染が起因であった血球貪食症候群症例

原嶋 一幸 日本医学臨床検査研究所

O-184 血液像自動分析装置「HEG-L」の導入効果

東 良憲 株式会社 いかがく ヘマトセンター

O-185 エスアールエルグループ施設における末梢血液像標準化への取り組み

内藤 有昭 エスアールエル 関西ラボラトリー

O-186 凝固検査用採血管の保存安定性について

井手 守彦 日本医学臨床検査研究所 堺検査部

10:05～10:23

座長：武居 弘哲(エスアールエル)

今村 茂男(いかがく)

O-187 検診におけるアディポネクチン値およびそのデータ変化量の評価

額原 麻衣子 日本医学株式会社

O-188 HOMA-R から見た健診受診者の4年後のデータ変化の評価

門田 苗穂子 日本医学株式会社

ランチョンセミナー

1日目 12月11日 12:00～13:00

第2会場（文化会館 2F 小ホール）

アボットジャパン株式会社

L-1 【ARCHITECT ProGRP 検査の特長と導入の意義】

講師：堀端 伸行（和歌山県立医科大学附属病院 中央検査部）

土田 貴彦（アボットジャパン株式会社 学術情報部）

第3会場（文化会館 2F 集会室 A・B）

日本光電関西株式会社

L-2 【ECI 脳波測定セミナー】

講師：佐々木 一郎（神戸市立医療センター中央市民病院 臨床検査技術部）

第4会場（文化会館 1F 展示室 A）

ベックマンコールター株式会社

L-3 【共有基準範囲設定国際プロジェクトからの知見 — 知見の総括と今後の展望について —

講師：市原 清志（山口大学大学院医学系研究科 保健学系学域・病態検査学）

第5会場（文化会館 2F 展示室 C）

積水メディカル株式会社

L-4 【LDL 測定法の問題点について】

講師：高橋 伯夫（関西医科大学医学部 臨床検査医学講座）

第6会場（文化会館 BF1 多目的室）

シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティクス株式会社

L-5 【ヘモグロビン A1c の国際標準化の動向】

講師：三家 登喜夫（和歌山県立医科大学医学部 臨床検査医学講座）

第8会場（婦人会館 3F 大ホール）

シスメックス株式会社

L-6 【耐性菌感染制御を目指す細菌検査のあり方】

司会：中山 章文（奈良県立医科大学附属病院 中央臨床検査部）

講師：高倉 俊二（京都大学 医学研究科 臨床病態検査学）

2日目 12月12日(日) 11:50~12:50

第2会場(文化会館 2F 小ホール)

シスメックス株式会社

L-7 [血小板減少症の診断と治療 ―最近の話題―]

司会: 松尾 収二(天理よろづ相談所病院 臨床病理部)

講師: 野村 昌作(関西医科大学 内科学第一講座)

第3会場(文化会館 2F 集会室 A・B)

和光純薬工業株式会社

L-8 [疾患別臨床検査の見方・考え方]

司会: 小森 敏明(京都府立医科大学付属病院 臨床検査部)

講師: 高橋 伯夫(関西医科大学医学部 臨床検査医学講座)

第4会場(文化会館 1F 展示室 A)

ロシュダイアグノスティックス株式会社

L-9 [ウイルス肝炎検査と治療の最前線 ―肝炎行政の展望を踏まえて―]

司会: 日高 洋(大阪大学医学部付属病院 臨床検査部)

講師: 林 紀夫(関西労災病院)

第5会場(文化会館 2F 展示室 C)

富士レビオ株式会社

L-10 [肥満と炎症]

講師: 伊藤 哲(富士レビオ株式会社 学術サービス部)

第6会場(文化会館 BF1 多目的室)

栄研化学株式会社

L-11 [呼吸器感染症の新しい遺伝子検査法]

司会: 工藤 研志(栄研化学株式会社 営業統括部 大阪営業所 学術一課)

講師: 高野 弘(栄研化学株式会社 市場対策室 LAMP 推進部)

第8会場(婦人会館 3F 大ホール)

GE ヘルスケアジャパン株式会社

L-12 [乳房超音波検査 ―画質にまつわるおはなし―]

司会: 藤岡 一也(公立大学法人 大阪市立大学医学部附属病院 中央臨床検査部)

講師: 尾羽根 範員(住友病院 診療技術部 超音波技術科)

12月11日(土)

9:30～12:30

第9会場

(婦人会館 1F 中研修室)

【チーム医療実践セミナー - NST -】

「嚥下機能」 ～評価から栄養の実際まで～

【プログラム】

- | | |
|----------------------------------|-----|
| 1. 嚥下機能評価を必要とする疾患および栄養投与ルートを選択方法 | 40分 |
| 2. 嚥下機能評価の実際と訓練方法について | 40分 |
| 休 憩 | 10分 |
| 3. 症例検討(模擬カンファレンス) | 70分 |

< ねらい >

「大変です！○×号室の患者さんが、お水を飲んでもむせてしまいます!!」

「それではもう、口から食事をとるのはむずかしいですね…」

???この会話がおかしいこと、あなたにはわかりますか？

誤嚥とは？嚥下とは？もっと知って、もっと臨床とかかわりたいと思いませんか？

今回のセミナーでは、言語聴覚士の先生をお招きして、嚥下機能評価の実際を詳しく講演していただきます。普段、目にすることのできない画像や映像も盛りだくさんです！

また、NSTに関して経験豊富で、JASPEN 評議員も務めておられる医師の先生に、嚥下機能評価の病態から栄養投与の実際まで講演していただきます。とっても親しみやすい先生ですので、是非この機会に、普段疑問に思っていることなど聞いてみませんか？

そして、模擬カンファレンスでは、お二人の先生にも参加していただき、実際のカンファレンス風景をおもしろおかしく、わかりやすく再現したいと思います。

12月11日(土)

14:20～17:20

第9会場

(婦人会館 1F 中研修室)

【チーム医療実践セミナー - ICT -】

「結核感染対策 あなたの病院は大丈夫？」

【プログラム】

第一部：講義(約60分)

- ・結核菌検査の方針と結果の解釈(QFTも含めて)
(担当：臨床検査技師)
- ・結核および非結核性抗酸菌症の臨床(担当：臨床医)

第二部：ワークショップ(約120分)

- ・研修型ワークショップの説明とグループ分け
- ・検査データに基づく感染管理ケーススタディ(各グループ)
- ・各グループからの発表と質疑応答および解説

< ねらい >

院内感染防止対策はここ10年間で目まぐるしく変化を遂げ、感染症に関する各種の認定資格制度も整備されてきました。検査技師に求められる業務は多様になり、今までのように検査室内のみで行ってきた業務範囲だけでは十分な対応がとれなくなってきました。結核罹患率が高い日本において、どこで結核に感染し、いつ発症するのかを特定することは困難です。病院職員の発症率は一般市民より高く、突然職員が発症する事例や、入院中の患者から発見される事例が数多く報告されています。そのような事例に遭遇した場合でも、しっかりとした対策方針を決めていればスムーズな対応がとれます。今回のセミナーは“結核”をテーマにして、感染防止対策上必要な知識の学習およびワークショップを実施します。

12月11日(土)

14:20～17:20

第7会場

(文化会館 2F 展示室 E)

【チーム医療実践セミナー ―糖尿病療養指導―】

「あなたの仕事を療養指導に生かしてみませんか？」

【プログラム】

総合司会・進行：小宮山恭弘（大阪鉄道病院）

14:20～15:10 前半：検査技師からの提言

EBMの芽(種)になるようなことにどのようなことがあるのか
日頃のルーチンの中から探してみよう

『もう一度見直そう検査データ(血糖、尿糖、グリコヘモグロビン A1c)』

検体検査 講師：豊田 充宏 先生(天理よろづ相談所病院)

『発見！勘違い？生体検査で気づく糖尿病のあれこれ』

生体検査 講師：田上 展子 先生(住友病院)

15:10～16:10 グループディスカッション

グループ毎に多施設でデータ蓄積することにより
療養指導上意義のあるものを発信できないか考えてみましょう

16:10～17:20 後半：特別講演

『糖尿病療養指導士が知っておくべき EBM の知識』

福井 道明 先生(京都府立医大)

< ねらい >

SMBG 指導も、施設によっては技師ではなく、看護部門が行っているところもあり、技師の持ち場がはっきりしない部分も多い。もっと臨床検査技師らしい指導や、持ち味を生かした業務を行うためには、職種が一致団結して糖尿病療養指導に役立つ EBM(情報)を発信し、検査技師の存在意義をアピールし、地位の確立を行っていかなくてはならない。その第一歩として、多くの人に興味を持ってもらうため、誰もが指導に関われるチャンスがあるという事を学び、明日からチーム医療の一員になってもらえるセミナー内容を企画しました。

12月11日(土)

9:30～12:30

第7会場

(文化会館 2F 展示室 E)

【POC セミナー】

POC コーディネータ申請に必要な3単位が取得できます。

(総論1単位、運用技術論2単位 合計3単位)

POC のトラブル対応
— こんな問い合わせ!! どう対応する?? —

< ねらい >

様々な問い合わせやクレームの実例を挙げその対応方法や原因を探る。
また、実例を問題として提供し、セミナー後半ではグループ分けした参加者に議論してもらいそれを簡単でよいのでその場でグループの代表者に発表していただく予定にしています。

セミナー内容

【STEP1】不足しがちな臨床現場との対話術

【STEP2】クレーム・問い合わせ対応の一般論を考えてみよう

【STEP3】衛生検査所に届く POCT と精密分析計対比クレームの色々

【STEP4】メーカーに届く POCT に関するクレームや問い合わせの色々

【STEP5】では解決策を討論してみよう

共 催：第50回近畿医学検査学会、日本臨床検査自動化学会

協 賛：株式会社堀場製作所

交流スポット 企業ブース

12月11日(土) 9:30～17:30 12月12日(日) 9:30～16:20

第10会場

(株)ミズホメディー	アルフレッサファーマ(株)
アークレイマーケティング(株)	ラジオメーター(株)
三菱化学メディエンス(株)	協和メディックス(株)
東ソー(株)	扶桑薬品工業(株)
関東化学(株)	(株)常光
シスメックス(株)	アボットジャパン(株)
ロシュダイアグノスティックス(株)	(株)日立ハイテクノロジーズ
シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティックス(株)	ノババイオメディカル(株)
(株)堀場製作所	GEヘルスケアジャパン(株)
日水製薬(株)	ニプロ(株)
(株)エイアンドティー	

キャラバントラック

12月11日(土) 9:30～17:30 12月12日(日) 9:30～16:20

奈良県婦人会館駐車場

オーソ・クリニカル・ダイアグノスティックス(株)
シスメックス(株)

企業ブース スタンプラリー開催

交流スポットにてスタンプラリーを開催します。

学会受付にて参加券を配布します。交流スポットの企業展示にて3カ所、キャラバントラックにて1カ所スタンプを押しもらい、エントランスホールに提出してください。その場で抽選を行い、当選者には豪華景品を差し上げます。多数のご参加をお待ちしています。